京城日報 THE KEIJO NIPPO
大正七年五月十一日　第三千八百十九號（一）
（明治三十九年八月十日第三種郵便物認可）
五月十日夕刊（朝夕刊を併せて八頁）

○英內閣危機
モ將軍首相難詰書翰發表

倫敦よりの報道に據れば最近迄英國參謀本部作戰部長たりしモリス少將は總理大臣ロイドジョージ氏を以て事實を語らずとて氏を難ぜる書翰を發表し前首相アスキス氏は下院にて調査の動議を提出せり爲めにロイドジョージ政府は危機に瀕するに至れり（香港電報）

○ロ元帥總司令任命

英國前參謀總長ロバートソン元帥はフレンチ元帥の後を襲ひ英國國內軍總司令官に任命さる可し（倫敦電報）

○米法院と軍隊派遣

米國高等法院は國家は軍隊を海外に送り得る憲法上の權利あるものなりとの判決を與へたり（紐育電報）

○駐日佛國大使更迭

駐日佛國大使ニヨール氏は本職を免ぜられゼンセー縣知事ドロネー氏其後任に任ぜられたり（巴里電報）

○露都危險迫る
獨軍クリミヤ半島を支配す

芬蘭白衛軍と獨逸軍との聯合軍はウイボルグ（ペトログラードの北部）を占領し露都愈々危險に迫れり一方クリミヤ半島の獨軍はクリミヤ南岸のフエヤドシヤを其手に收め全半島を支配し得るに至れり（哈爾賓特電）

○過激派の暴行
對邦人惡感情高潮に達す

過激派の排日感情は最近高潮に達し後貝加爾一帶は日本人とさへ見れば殘虐なる行爲を憚らざるに至れりされど身分ある邦人の拘禁者に對しては國際間の紛議を慮れ鍵行を見合せ居れるも素性明らかならざる者は彼の毒手に倒れたる者尠からず（哈爾賓電報）

○支那對瑞條約締結

駐日支那公使を全權代表者とし瑞西國と條約を締結せしむるの命令八日發表さる（北京特電）

○支那出兵不如意

段總理は八日朝佛國公使を訪問し據に同公使の來訪を受けたるに對し答禮を述べ且つ國內紛爭の爲め歐洲出兵意の如くならざるを深く遺憾とする旨を述べたり（北京特電）

○李純へ出兵命令

參陸辦公署は南京の李純氏に對し速に一個旅團を出動し廣東に侵入す可しと命せり（北京特電）

○東洋拓殖の增資
資本金を二千萬圓に增加
配當は年七分五厘

東洋拓殖株式會社にては來る二十二日午後一時東京市麴町區有樂町一丁目東京商業會議所に於て第十回定時株主總會を開き（一）當期事業報告、財產目錄、貸借對照表、損益計算書承認の件（二）利益金分配案議決の件（三）現在資本金一千萬圓に更に一千萬圓增資新株式二十萬株發行及其の割宛並に方法（四）增資に伴ふ定款變更の件（五）監事一名改選の件等を附議すべし因に本期利益分配案左の如し（東京電報）

一金六十五萬七千九十八圓十六錢三厘　當期利益金
一金三十一萬八百八十七圓六十八錢五厘　前期繰越金
合計金九十六萬七千九百八十五圓八十四錢八厘
內
金五萬二千六百圓也　缺損補塡準備金
金一萬三千三百圓也　配當平均準備金
金三萬二千九百圓也　役員賞與金
金五十二萬五千圓也　配當金（政府持株以外に對する年七分）
金三十四萬四千二百八十五圓八十四錢八厘　後期繰越金

▲米山參事談　右に付米山東拓支店庶務課長は曰く川上理事が內地出向中の關係もあらうが東拓支店は增資並に增配に付未だ何等公式の通知に接しない、唯增資をやるらしいと云ふ形勢は分つてゐました、又增配も貴紙に屢々報せられた如く實現しさうであつたが唯其の率は分らなかつた、然し廿二日に總會をやるとすれば十四日前の九日に本社より株主に通知を出した筈ですから何故それへに通知が來ぬかと訝かり乍ら本社に問ひ合せ中です何れ一兩日中に增資理由其他の事は詳細に分るだらうと思ふ

○皇族裁判令特別委員會

皇族裁判令に關する樞密院特別委員會は九日午前九時半より永田町事務局にて開會淸浦副議長伊東委員長以下各委員列席逐條審議正午散會大半は議了せるも本會議に附する迄猶數回開會さる可く尙同令は重要案件なれば皇族會議にも附議さる可しと（東京特電）

○林公使動靜

林公使は湖北督軍其他の漢口名流と會見の後大冶に向け出發せり（北京特電）

○山縣公歸東期

入洛中の山縣公は十三日頃歸東すべく途中小田原に立寄り二十日頃入京の豫定なりと（京都電報）

○支那公使歸任

駐露支那公使は共同動作を執る爲め露國に歸任せんことを申出でしが今回許可されたるを以て不日哈爾賓を經て赴任の途に上る筈なり（北京特電）

◎資金消化力の增大
朝鮮財界の膨脹と銀行貸出激增
鮮銀營業當局者の談

最近に於ける鮮內各銀行の貸出現計が前年の同期に比し約七割弱の膨脹を告げてゐる事は京城日報に報ぜられた通りである大正六年の春季まで累年の銀行貸出統計が其の

▲增進率に於て遲緩であつたのに爾來一年の間に甚しい膨脹を來したのは多少意外の感を外者に與へたであらう、然し乍ら之れを內地財界の最近一年に於ける躍進に比し又朝鮮內の實情から察すると全く自然的の膨脹であつて何等問題とするに足らぬのである、乃ち東京大阪神戶名古屋橫濱五大都市に於ける銀行貸出統計を見ても去年の三月末は十七億弱であつたのに今年の同期は二十五億と云ふ數字を示してゐる、五割の增加だ、手形交換高の如き今一層の增進率を見せてゐる、り朝鮮の

▲財界の膨脹も內地の財界發展に伴隨してゐると曰ふのが適當であらう、乃で一步を進め何故鮮內の銀行貸出しが激進したかは色々あるけれど主要なものを數ふれば物價の騰貴と內地資本家の朝鮮の事業に對する投資とそれから滯貨並に鐵道經營者の一變等を擧げねばならぬ、物價の騰貴は今更ら事々しく述べ立てるまでもなく殆んどすべての商品が昨年に比し暴騰してゐる、殊に朝鮮で重要な貸出擔保たる米の如き去年の早春まではどうもぐらつき氣味の相場であつたが爾來漸騰一方で進んで來た、大豆小豆の如きも亦た然りである、かうすべての擔保物件が騰つては銀行の貸出しは自然に膨脹する、それに滯貨の關係と

▲輸移入界の振へる事情は貸出し擔保の數量も去年あたりに比し增加してゐるやうである、商品貸出しは益々增進する譯だ、又昨年來鮮內の事業勃興は茲に幾十と云ふ數字を擧げないまでも全く未曾有の事實であつて從つて此の事業（鑛業並に土地投資を含む）に關聯し內地資本家の朝鮮投資が大に加はつた、然も多くなつたし從來より一層手を擴げたと云ふのが却々多い、之等の堅實な資本家の朝鮮注目は自然各種資金の需要を銀行に求めてゐる、又如斯資本家に對しては銀行も安心して融資的に思ひ切つて貸す、口數は多くなくても金高はグン〳〵上つて行く、更に

▲鮮鐵の經營が去年の八月から滿鐵の手に移つた、滿鐵の手に移るまで鮮鐵の收入は國庫金扱ひであつたが、その後は會社の預金となつてゐる、その預金はドコにか放資口を求めねばならぬと云ふ關係よりも鮮銀一行の貸出しは殖えた形である、要するに朝鮮の財界は諸事創設的であつて資金は缺乏し內地方面の投資を歡んで迎へてゐる實狀にある、昨年來內地資本家の注目が多くなつたのは朝鮮開發のために喜ぶべき事であつて之等の關係はその資金の消化力を內地の增進程度以上に增進してゐるので全く自然的の行き方と稱して差支へない

◉朝鮮關稅問題（中）
一般に攻究すべき時機＝學者の所說

河津博士も亦吾人と同じく問題の骨子を、朝鮮を獨立關稅區域となすか或は母國の關稅區域に併合せしむべきかの二點に分ち本問題の解決は勿論殖民政策の根本義に據らざる可からずと雖も之と同時に我が國情を斟酌せざるべからざることを說き

▼關稅制度改正の要點を凡そ四個條に別ち稍や詳細に攻究されて居るが大體成るべく速かに母國と一關稅地域となし母國と一經濟圈を形成すべきものとしての見地に立ち關稅牆壁の撤去が朝鮮の經濟並に財政と之に關聯して內地の經濟並に財政に如何なる影響を及ぼすべきかを顧慮し朝鮮の經濟財政の狀態が此の牆壁を撤去するを尙早なりとせば如何なる政策を施すべきものなるかに就いて意見を陳べられて居る、夫れから又一面の方向を觀察すると朝鮮の農產物が無遠慮に內地へ移入さるゝ時は內地農業の被る不利益は莫大である租稅其他の

▼公課負擔相匹敵し地味耕作等の競爭ならんには差支なけれども租稅に懸隔あり所得稅法無く消費稅其他の公課も輕微なる朝鮮より自由移入は宜しからずとの議論が帝國議會などに折々持出されて折角撤廢した米の關稅を復活しようと言ふ企がある是等は神戶、河津兩博士等の意見とは正反對であるが學者間にも輸入稅の安い朝鮮が外國米を需要して其の產米を內地に無稅移入するは心太作用である宜しく特惠關稅として課稅すべしといふ論があつて

▼矢作博士等が其の主唱者である樣だ斯る有樣で此の問題は簡單でないから朝鮮に在りて經濟民の職に任ずるもの商工業者農業者に參與するもの、一齊に考慮しなければならぬ事柄である假りに統一關稅を不可なりとした場合には一々品目に就いて稅率の取捨をせねばならぬのであるから容易の業でない吾々は私論として朝鮮は獨立關稅制を維持すべしと主唱するものであつて其論據は專一に財政上の必要乃ち財政關稅政策の側より觀く斷ずる、朝鮮關稅の收入は年々增加し朝鮮歲入の重要財源であつて內地關係のものは凡そ

▼五百萬圓內外を算するが故に若し統一關稅を採用する時は財政の獨立より來つて國庫補充金の消滅と合して一千萬圓の缺損となる斯くの如き大財源の減失は之を償ふべき穩健なる策を發見せねば吾々は地租の增徵には贊同を寄む一人であるが爲めに朝鮮の新財源としては差向き專賣事業より外に適當のもの無しと思つて居る之を內地に見るに煙草鹽樟腦の三專賣あり既に世間熟知の通り煙草は日淸戰爭後に於ける財源の膨脹に迫られて起り鹽は日露戰爭當時の財源として制定せられ純粹なる

▼財政策より實施せられて各々屈指の好收入となつて居るのであるが朝鮮も補充金の打切は煙草專賣等に依りて追々補はれようが關稅撤廢の缺陷は何か破天荒の官營事業でも勃發せぬ限り戰時利得稅や消費稅の增率位では追付くまいと考へる第二は社會上の理由であつて第三は朝鮮の商工業を保護助長する所謂保護關稅政策の方より其必要を提唱するものである是も亦今少しく一般の觀念が此問題に集まつて然るべき時機に到著して居りはせぬかと感ずる

▼有著志の少からぬものもつて滿洲あたりでは注意を拂ふ見に客月大連の商業會議所より現行朝鮮關稅定率は今期限滿了後の稅制度は如何相成候や貴所は之が決定如何に依り重大なる利害關係を有せられ候爲め定めて意見も御決定の事と存候に付參考迄に概略御通報相煩はし度との依賴ありたる位なり（京城商業會議所大村書記長談）

○モ前作戰部長の辯明
英首相の演說相違を質す

三週間前迄作戰部長たりしモリス少將は新聞紙上に發表して曰く「ボナー氏が四月二十三日下院に於て英軍戰線の擴張はヴエルサイユ會議の審議を經ず」と言へるは事實相違なりヴエルサイユ會議が本問題を議定せし時予は現に參列せり首相が四月五日下院に於て「在佛英軍千九百十八年一月一日現在の兵數は千九百十七年一月一日の兵力よりも優勢にして當時メソポタミヤには白人師團一個、及パレスタインには三箇師團已なり」と陳述せるも事實相違なり予は議會が是等の言說に就て調査を爲さん事を望む予が此書翰を送るは軍人共謀の結果に非ず又此書翰は軍人には何人へも示したる事無し但し軍人中には首相の言說の不當なるを識るもの尠からず從つて斯かる言說は軍隊の士氣を損する虞れありと（倫敦電報）

○希臘前國王危篤

チユーリツヒ來電＝希臘前國王コンスタンチノスは病氣危篤なりと（香港電報）

◈九州見物（七）
磐溪生

太宰府行

關門を辭して太宰府神社に詣ず可く二日市より軌道車に搭す、客車も汽鑵車も玩具の如く進行極めて遲々たるも沿線は所謂

◎菜圃千里の眺望なれば速力の遲きも又風流なり、行く程かに二十五丁にして、延喜の文聖菅公を祀る處の太宰府神社に到る、境內に入れば幾千年を經たらんと思はるゝ楠の大樹森々と枝を交らし、其間より朱塗りの廟宇隱見するさま、莊嚴雅重なり、社前に有名なる飛梅あり『東風吹かば匂ひおこせよ梅の花、主なしとて春な忘れそ』と歌ひし主を慕うて

◎遠き都より東風に送られて飛び來りしと言ふ、夢的の傳說を有する老梅、是なり、社背に遊園あり、流石に天滿宮だけに梅樹の枝を繁らし、風趣掬す可きありと雖も、社前の古木森々たるに比すれば、餘りに調和を缺き居る者の如し、殊に淸楚や、給仕がざ、陶器など太宰府名物を賣附けんとて、茶屋の女盛しく客を呼ぶが如き、今更らに名物程うるさき者はなく、迷惑なるものはなし

◎菅公の遺德に依つて衣食する者、菅公の德を寶物にし、之を賣すに至つては言語道斷なり無佛社長は鮮于日君と記者とを拉し都府樓の址を訪ひ、觀世音寺に詣でんとし、俥を傭はんとしたるも形容枯槁の一老車夫あるのみ、二倍の賃金を與へて他の車夫を呼び來らしめしも、來る者皆老人にて堪へざる『代物』なり、殊に肥大の社長は、頗る當惑顏なりしも時間に限りある事なれば、途中の故障を見越して

◎俥上の人となる、車夫曰く『當今のやうに自轉車が出來ては、迚つては稼業になりません』と、親の心子知らず、菅公の德をも遂ひに車夫に及ばざるかと、三人相顧みて苦笑す、車走る事遲々、緩坂に至れば下車せん事を求む、飛んだ者に乘せられたりと後悔すれど今更らに詮なし。

◉定例長官會議

十日午前十時總督府第一會議室に於て定例長官會議を開き山縣政務總監以下各部局長官參集諸般の政務に就き協議する處ありたり

◉電信收入百萬

大正六年度に於ける遞信局の電信收入は百零二萬七千圓にして朝鮮としては百萬圓の電信收入を擧げたる事は六年度を以て嚆矢としたるが前年に比し二十七萬圓の增を示し居れり尙ほ通數は七百十八通にして前年の五百四十四通に比し三割二分の增加なりと

◉朝鮮郵船買船
七百噸の雄基丸

朝鮮郵船會社にては今回兵庫東洋物產會社所有船千賀丸（七百噸）を四十五萬圓にて買船する事となり一兩日中下の關に於て新船主との間に授受をなす事となりしが同船は明治三十八年の建造にて十餘年の年代を經居るも鋼船にて頗る堅牢噸當り六百五十圓にては時價より見て割安なりと尙ほ同船は仁川に船籍を置くべく船名は會社にて雄基丸と改むる由

◉京奉一等寢臺車

京奉鐵道にては五月十五日より奉天北京間に一等『リユックス』寢臺車（使用料五弗）を聯絡運轉する旨滿鐵會社に通知ありたり

◉仁川船渠創立總會

仁川船渠株式會社にては既に第一回の株金拂込みを了したるを以て來る八日午後一時より仁川商業會議所樓上に於て創立總會を開催すべく創立委員長より各株主に對し十日夫々通知を發せり

□大阪より　林市藏

春逝る夜雰雨新綠にしたゝる

□伊勢路旅行即吟

伊勢路で傘の柄にもる五月雨

小生近狀如斯昨夜大塊翁通過西下す近頃流行の豪傑頭巾にて廣嶺正中に納まりたる大塊振り御目に懸け度程に候

◉公醫講習會

警務總監部にては全鮮各警察憲兵隊より公醫を選拔し來る十八日より總督府醫院に於て講習會を開催すべし

◉議員團總監訪問

九日夜入京したる滿鮮視察議員團一行十三名は十日午前九時半總督府に山縣政務總監を訪問し入京の挨拶を爲し暫時會談の後辭去せり

▲藤島視察　議員團一行は既定日程中德壽宮觀覽の後パコダ公園を見物の豫定なりしも豫定を變更し藤島模範場に趣き同所觀察の後時間の都合に依りパゴダ公園を視察することゝ成れり尙十一日は午前中裁判所、午後師團の兵營の視察を日程に加ふることゝ成れり

◉軍司令官消息

松川軍司令官一行は七日午後七時五十分著列車にて馬山着望月旅館に入りたるが八九の兩日鎭海灣重砲兵大隊及び衛戍病院馬山分院を檢閱し十日鎭海要塞司令部を檢閱同日馬山に引返へし一泊十一日午前九時發東萊に向ふ筈なり（馬山）

◉平田觀測所長歸任

仁川觀測所長平田德太郎氏は東上中の處十日入京總督府訪問午後歸任せり

◉松崎事務出張

朝鮮郵船の松崎事務は十一日朝南大門驛發元山に向ふべし

◉內地郵便物不著

十日朝釜山入港の筈なりし關釜聯絡船は風浪の爲め豫定時刻に遲れて入港せし爲め船車の聯絡を缺き從つて十日夜配達さるべき市內便は不著となれり

人事消息

▲福岡榮太郎氏（醫學士）十日朝入京不知火へ
▲篠原傳七氏（醫學士）同上
▲井口儀次郎氏（朝鮮銀行員）十日朝入京不知火へ
▲金澤淸氏（開城電氣專務）入京中の處十日歸開
▲白井水城氏（辯護士）十日入京同夕開城へ
▲志賀眞三郎氏（遞信副事務官）十日朝鎭山へ出張

酒前茶後

◆佛大統領克滿相本年七十六才而も一見六十前後活氣壯者も不及
◆彼生活極簡單每夜肉汁のみを牀に入りて翌午前二時必起
◆早速滿腹直に事務を處理し明け迄には普通人一日分以上を
◆之が爲息子を戰場に出した老人とは見えず實に勢力絶倫可
◆冷人政府黨府引越は亂暴を露都各官廳の荒され樣は一見慘
◆暮夢林宮の華麗も滅茶々々使の館は二彈を蒙りて無慘の負傷
◆稀代の英主彼得が心血を注し二百十五年の舊都も今は夢の跡
◆時局以來內地の孤兒院は其數二割減物價大暴騰の今日奇現象
◆下層勞働者の生活餘裕なるならんも平和克復後其心配が
◆勝田藏相奈良の大佛に詣でり『大佛に一句揭げて若葉哉』
◆頓らに伊勢の大廟に參詣して曰く『神木の梢に咲けり時の花』
◆藤榮と云へば一昔足尾鑛毒の義人正造翁の田中翁の墓前に
◆多は獻にて『浪人の首に掛たる頭陀袋は天下を擇ぶ飯入』は
◆伊太利に女船長出で世界の珍
◆日本にも始めての女船長矢たりと傳へられたるは此間の
◆看護者は當年廿才の今井浦子
◆一轉して鼠顏現はれば冷遇虐待旅行より歸れば歡迎款待する女の心
◆淫詞不思議の性を有するは女評詞不思議の海を翻せんとす面白

發行所　京城太平通一丁目　京城日報社
發行兼編輯人　奧田直毅
印刷人　小川三之介

十一月一日現行

◇内主膳所の石釜—女官の前にある小さな釜が即ち大て進供の御飯を炊く時使ふのである—

昌徳宮のお臺所（三）

進供は總て獻立表によつて調理され牛肉は入札制度魚類野菜は標準相場を作つて其範圍で

漬物時季が來ると唐辛丈が二十五石

王殿下が—（御進供を召し上るのは朝夕の二回）丈で朝は召し上らない朝は大抵お茶かお藥で濟される、御食事の時刻は兩殿下共晝は正午夕方は七時と極つて居るが時による妃殿下は王殿下の御食事が濟んでから召し上ることもある、朝鮮の習慣として御二方お揃ひで進供の御膳に向はれるやうなことは特別の場合を除く外平生は全然ないと云つても好い、進供は總て獻立表によつて調理される、蛋白質が何うの含水炭素が斯うのと六ケ敷い理窟こそ言はぬが兩殿下の御嗜好を基礎として各種の滋養分を適宜調和することには甚大な注意を拂つて居るとやら

獻立表は—（什麼ことがあつても前日中に其翌日）の分を作成し、夫に必要な調理材料は又必らず前日中に註文する、尤も御用の米は東洋用達會社から納め肉のやうな定り切つたものは三月に一度入札に附し其落札者から納めることになつて居るが、魚類、野菜類と云つたやうなものは納ねず相場の變動があるから一週間に二回市場の實際相場を調べて一定の標準相場を拵らへ之を基礎として然るべき品物を購入れる、夫より前註文の現品が到着すると典膳所で其檢査をする、此時は内主膳所の女官も立會ひ現品の新古品質、斤量等を

篤と吟味—（して異ならば直實中分なしと知れば）茲に始めて購入の手續を濟ます、合格せねば何度でも納入者を替へる却々嚴重なものだ、其他洋酒だとか清涼飲料だとか西洋料理に使ふ牛酪だとかソースだとか云つたやうなものも總て購入れるが朝鮮在來の醤油や漬物丈は毎年典膳所で造り且漬ける、今年は醤油を造る爲めに桃五十俵を要した相だが之は五六年先でなくては使はない現に此頃内主膳所で使つて居るのは五六年前の醸造で斯樣醤油は何千圓積んだところで容易に手に入るものぢやないと係の人は自慢して居る、漬物は毎年

大きな瓶—（に頁五十程も漬ける漬物時季が來る）と御庫の前は大根の山、薬味の山—唐辛丈でも約二十五石から要る相だ、大抵の人が此の唐辛丈見て腰を抜かすと云ふのも滿更嘘ではあるまい。

◉桑港行船舶に 腦脊髓炎 二十三名死亡

桑港來電＝桑港行の天洋丸の乘客六名、安洋丸乘客七名、西伯利丸乘客十名は航海中腦脊髓膜炎にて死亡せり（大阪特電）

◉四千四百七十米突 武田中尉最高記録を作る

所澤航空隊にては九日早朝新に購入せるソッピース式飛行機の試驗飛行を行ひ武田中尉操縦四千四百七十米突の高度に達せり是れ同飛行場に於ける最高記録也（所澤電報）

◉代議士團 京城大觀

中央試驗所にて午餐

入京中の代議士團は十日午前九時總督府に山縣政務總監及び各部長官を訪問しそれより南山公園に登りて京城市街を大觀し商品陳列館を觀覽し午前十一時中央試驗所を視察す一行中棚瀬軍之佐氏は六七回渡鮮したる事あり其他にも朝鮮通ありしも中央試驗所は始ての事故何れも興味を以て參觀し正午同所樓上に於て午餐の饗應を受けたり午後は總督府醫院、昌慶苑、鐘路視察

◉合成化學品の研究 ＝ベンゾールを原料の

◇人造藍◇アンチピリン◇ ◇六〇六號◇アスピリン◇

中央試驗所にては朝刊所報の如く今年の新施設としてベンゾール製取蒸溜器を設置する事となりたるが右につき吉城同試驗所技師は語つて曰く

ベンゾールは石炭の副産物たるタールを蒸溜して製取するので兼二浦の三菱製鐵あたりでも年三萬噸からのベンゾールを製取して居る動力に石炭を使用する工場であればベンゾールを製出することは

回決して六ケ敷い仕事ではないが

今度當所で研究しようと云ふのはベンゾールを原料とする合成化學品の試驗である從來ベンゾールに他の藥品を混合して製出した染料、藥品は頗る夥だしいもので人造藍、アンチピリン、アンチヘブリン、アスピリン、六〇六號などは皆此ベンゾールが原料になつて居る

回此外にもまだ澤山あるが研究の餘地は尚多々あることと思ふ即ち當所が其試驗を實行しようとする所以で此結果多少でも有用な新合成品を發見することが出來れば夫は決して當所のみの幸慶ではないのである然し何分試驗のことであるから然う大規模にやる譯ではない

回建物は約十坪位のもので竣工の上は染織試驗室にも使ふ心算である蒸溜器は近々内地へ註文する筈であるが之が先づ千四五百圓位の豫算である

婦人と子供

人にはかならず希望があります小さき者の口から洩るゝ言葉は何の飾氣もなく實際に思つたまゝの天眞爛漫な言葉でありますそしてその希望の裏面からはその子等の家庭のある部分まで覗ふる事が出來ます

◉記者は南山幼稚園のエプロン姿の可愛い者達に『皆様は大きくなつたら何になります？』この問を發しました男の方は軍人が一番多く陸軍よりも海軍の志願者が澤山でした、先生私は水兵になります、先生私は中將になります、と云ふ方が多くつて大將になるといふ人は一人しかありませんでした

◉その外飛行家、商賣屋、醫家、商人と樣々な答を聞きましたが外に私は自動車の運轉手になりますと云ふ子が一人ありました、そして僕は大きくなつて見なくてはわからないと答へた子供もありました。

◉女子の方では女學校の先生が一番で學校の先生位なもので外はお嫁さんだのお嫁さんだのお母さんだのと間違ひのない處を答へて居ました。

◉私は子供を通して家庭の何を知らうと試みた事が出來ましたでせう、彼等は唯皆な見て自分の希望を述べたのでなくして自分の周圍の最も近しい人間に於て希望を述べたのであります。

◉私は終りに附け加へておきますある有名な教育家が小さい子供を祖父母に託して教育の事も十分頼んで置いて夫婦共に洋行しました老祖父母は大阪に住んで居ましたので數年の後この教育家が歸朝して大に驚いた事はあの小さい自分の子は祖母に尻を求め祖父に手拭を求めてそして尻からげをして呉れと云ひました老人達も見てかわかりません、見て居ると子は妙な腰ぶりをして手拭で鉢巻をしてステテコをやつて居ります

◉教育家は大變驚いて其の原因を調べて見ると子守の近くから來ていたのでよくこの子を背にしては寄席の近くに遊んで居た事が分りました

◉そして無意識だと思つて居た子はこんな下等な舞ひを覺え込んで仕舞つたのでした、これなどはたしかに心ある人に大きい注意を促すべき事であると思ひます。

◆袋に入れて配達して呉れる ＝郵便物の新取扱

鮮銀が第一番に請求

郵便物の配達前後に於いて起る種々の間違を豫防し豫ねて一纏として授受するを得る便宜の爲め受取人は豫め郵便局に請求して一箇年二期に二圓づゝの料金を切手で納付すれば郵便物を自己提出の袋に入れ錠を下ろして配達を受くるを得るの方法を先般規定に設けられたが未だ何人も其請求を爲すものがなかつたが本月九日より朝鮮銀行は其の取扱を請求せり蓋し朝鮮に於いては之を以て其利用の嚆矢であると

◉玄界風浪高し 高麗丸入港せず

今朝入港すべき高麗丸は玄界洋に於ける風浪烈しき爲め午後六時頃にあらざれば入港せざる見込にて今朝釜山發連絡船對馬丸は風波を冒して出港せり（釜山電報）

◉池原氏召喚か

京都瀆職事件にて嘗て市長候補となり敗を取りし池原鹿之助氏は九日檢事局へ召喚されたりとの說あり（京都電報）

◉魞の中より 十二萬圓 ＝紛失した赤行嚢

去る二十九日浦港で十二萬圓入りの赤行嚢を列車中にて失ひしに其れが琵琶湖の魞の中より現はる進行中河中に墜ち雨水の爲め押し流されたるならん（大阪特電）

◉坑内に焚火して救助を待つた 遭難家族の歡喜

黄海道隧道崩壊の爲め埋沒したる同地鑛夫十八名が九日午前一時頃全部救助せられたる事は既報の如くなるが遭難者の一人の語る處を聞くに

俄然坑道崩壊し我等十八名が生埋めとなりたるを知りたる刹那其の崩壊及び損害の程度は知るに由なかりしも自分は嘗て坑道に於て

◈◈埋沒せられたる經驗あるを以て徒らに狂騒するの不可なるを思ひ一同を和めて坑道に焚火をなし腕時計を眺めながら靜かに時間の經過を待つことゝせりしかも一週間位の後ならでは救助せらるゝ事なかるべしと思ひしに意外にも早く救助せられたるは望外の幸福なりと

◈◈一同の救助せらるゝや遭難者の父母妻子等は救助坑に集まり來り嬉し涙に咽び泣かんと聲をも立て得ざる喜悦の情は他人の見る目もいぢらしき程なりき因に遭難者中二名は空腹の爲め疲勞甚しき模樣なるも生命には別條なかるべく會社當事者は救助當時萬一を慮り目隱しを施し重湯などを與へ

◈元氣の回復するを待ち懇ろに看護しつゝあるを以て一同の元氣回復は意外に早かるべし猶鐵道工業會社は同隧道を本月中に貫通せしむる目的にて驟貸にて取急ぎ居たる由なるも意外の椿事出來せしを以て約一箇月間延期の外なかるべく且つ其の損害額も一萬圓に達する見込なりと

◉強制執行から 親戚四名の罪

本籍名古屋市中區伊倉町當時京城永樂町一丁目居住洋服商高橋よね（四二）は夫助六が昨年十一月中無斷家出し殘るものは借財ばかりにて店の經營も容易ならず遂に同月には債權者慶州通一丁目居住高利貸營田豐次郎より財産の差押へ強制執行を受け手も足も出ぬ破目に陷りたりしが之れが爲め夫の實弟なる同町居住の洋服商高橋賢九（三二）よねの姉婿なる水標町居住の鍛冶職嘉吉郎（四〇）等に事情を打明け前後策を講ずることとなり其の結果幾分の借財ある黄金町四丁目居住の堀内定二郎（四〇）を相談に引張り込みよね夫助六が堀内に借用證書の返濟期限を經過し未だ餘猶あるものを既に期日を經過したるが如く變造し備別に實際には一文も借り居らざるにも拘らず堀内より六十圓と八十圓との二口の借金あるが如き虚僞證書を假造し之を京城地方法院に提出して豐次郎が差押へたる債權中より幾分の配當を得たる模樣を豐次郎が探知して一同を京城憲兵分隊に告訴したる爲め取調べの上四名は九日悉く拘引され檢事局に送られしが是れが裏面には雙方共備入込みたる事情潜伏し居るものゝ如し

◉全光烈逮捕

既報の大金を詐取せし金光烈は大金あるに委せ東京、奈良、大阪等を浮れ廻り大膽にも歸鮮し九日午前八時馬山發自動車にて歸晋せんとする時犯人護送の爲め來馬せし晋州警察署梁刑事の爲め馬山にて逮捕され十日晋州へ護送されたり

◉平壌にて捕はる

熊本縣玉名郡生れ土工小村辨次（三十）は京城市内各所を荒せし窃盜常習犯にて當地に入込みし形跡あるより平壌署寺田刑事が探査中砲兵工廠兵器製造所建築工場に於て土工と化け働き居るを探知し六日逮捕取調の上八日犯罪地たる京城本町署に押送されたり（平壌）

◉春季清潔日割

京城本町署管内にては左記の日割にて十五日より春季清潔法を施行す可し

▲五月十五日 南大門通五丁目、御成町、蓬萊町一丁目、吉野町一二丁目、古市町▲十六日 南大門通四丁目、南米倉町、南大門通三丁目、旭町一丁目▲十七日 本町二丁目、南山町一二三丁目、旭町二三丁目、明治町▲十八日 永樂町一丁目、南大門通二丁目、倭城臺、日出町、蓬萊町、若草町、本町三丁目▲十九日 本町四丁目、櫻井町一二三丁目、大和町一二三丁目▲二十一日 新町、本町五丁目、黄金町四丁目及光熙町、東四軒町、西四軒町、黄金町六七丁目、元町、花園町、初音町、並木町▲二十二日 笠井町、黄金町五丁目▲二十三日 長谷川町、黄金町一二丁目の一部、北米倉町、太平通一二丁目、西小門町、貞洞、武橋町、黄金町一丁目の一部▲二十四日 和泉町、義州通二丁目、蛤洞、漢井洞、中林洞、蓬萊町三四丁目、西界洞

◉鈴木雪哉伯入京

東京小石川區原町六十一番地鈴木雪哉伯は此の程入京老人亭大塚參事官邸に滯在中なるが十一日午前九時三十分南大門發金剛山を探賞する筈にて往復一週間の豫定なるが其後約一箇月間京城に滯在して揮毫を試み歸東後東京に於て展覧會を開催する計畫なりと

◉試驗所の野遊會

中央試驗所にては十一日の土曜午後より同所裏手の松丘に於て職員家族の野遊會を催すべし

飯塚齒科醫院

東上中五月八日院主歸城

讀者文藝（一等に金五十錢の書籍切符を呈す）

▲俗 め ぶ

○獨樂と紐（一等） 京城南大門通五丁目月良内 折田槌市

佳作 京城折田、同 妙林、同 そ子、龍山 紗

次回課題

灯もと頃

全羅南道以來連日各方面の熱心な歡迎を受けて頗る得意の一行中の自稱は一驚に口を開けば無論吉林省一帯は朝鮮の領土だと云つて居る▲何故と訊くと其曰くが面白い昔々の其昔に南怡公と云ふ英傑が居たが一日一挺の弓と矢を持ち出し此矢の届く限りは朝鮮の領土であると云つて矢を番へ滿月の如く引き絞つて發矢とばかり放したところ▲其矢は琿春から朝鮮の里數で千五百里の彼方アムールの流々たる露支國境まで届いた▲だから吉林一帯は當然朝鮮の所有であらねばならぬと云ふのであるが假は兎も角如何にも國境に近い人の秘密的物語ではあるまいか▲尚一行中の黄圖長は僅かに漢文を解する丈で殆んど口に一丁字がないと云つても好い位である▲だが頗る猛烈な團體で堪能で絶ねず奇抜な皮肉や反語を連發して一同に腹を抱へさせる相な

商況

兵庫期米

十日前場 寄付 二十六圓十八錢

東京期米特電

十日前場 寄付 二十五圓七十錢 八十九錢

大阪三品特電

大阪期米特電

十日前場 寄付 五月限 六月限 七月限 八月限 九月限 十月限 三三、三三、三三、三三、三三、三三

大阪株式特電

下關期米特電

雜報

◉綿糸布又頓挫 米棉二十五仙

又々五六圓乃至八九圓方低落 現物

龍レー及九龍共に十圓六十錢

◉綿布先物取引 個の商談成立 合計三百

晴天

◉期米は混沌乎

南大門の廻穀

仁川正米

釜山穀物（九日）

生魚市場

◉正米依然傍觀

◉乾物類の其後 市場閑散 持合ひ

下關相場

仁川期米

十日前場（暴落）

二十五錢と二十二圓二十八錢大下放れ寄付き

仁川米豆取引所仲買人 十 仲買店 電話 長九〇五番

錢安 大阪一節六圓〇一錢と昨止より二十

物多く三十四錢と押し 大激戰を演出

仁川米豆取引所仲買人 仲買店

◉期米再び落 強硬正へ

未だ充分の影響なし 見解

再度二圓二十錢落

落と相待つ軟弱

仁川米豆取引所仲買人 剰 仲買店 電話

大阪及各地の暴

市場雜觀

青物小賣値

仁川取引所 十日の七月限

大阪期米

十日後場 寄付

限二十九錢と一錢安に寄付二十錢と押し五錢と跳ね二錢三節に至り大阪六七九錢と大下放れ移りし常…

天氣

曇小雨後晴（十一日午後六時迄）

五月十一日 仁川 日出 五時三十九分 日没 七時二十九分

課題及募集規定

□募集規程 ▲用紙は端書又は同形の用紙一枚毎に雅號又は名の外に住所氏名明記の事▲一等…

（明治三十九年九月八日第三種郵便物認可）

◎吉林軍出征の光景―氣樂な露人の日向ぼつこ

（二）（三）（四）は吉林軍が長春驛プラツトホームより將に發せんとする東支列車に乘らんとする處（一）祖國の安危に臨んで居ても一向ソンな事に頓着せず長春附屬地の自家の前に悠然日向ぼつこをしてゐる露人

◎犯罪人一萬三千人

＝統計から見た京畿道の犯罪＝

三分の一は窃盜犯で、婦女强姦罪も尠くない

◇殺伐な事件は年々減少する

大正六年一月から十二月末に至る滿一箇年間京畿道管内に於る犯罪狀況を警務部で調査した統計から觀るに、いろ〳〵の犯罪に依つて害を被つた者が一萬五千六百三十八名である、其の中で内地人の被害者が五千八百六十九人同じく朝鮮人が八千六百四十五人となつてゐる、其の他の

◇被害者 としては支那人並に歐米人が各三十九人宛である、是れは居住してゐる人口が尠いから隨つて被害者も少いのだ、此の外に個人とか公共團體とか言ふものゝ被害數が一千十六件となつてゐる、而して是等の犯罪事件が發生すると憲兵警察では加害者たる犯人の檢擧に努めてゐる、其の結果昨年中に檢擧した件數から見れば一萬一千九百六十八件で其の人員即ち犯人數は一萬二千八百九十六人となつてゐる

回さて右の犯人を色分けして見れば内地人が一千九百三人、朝鮮人は約其の六倍で一萬八百八十二人、支那人が百九人で其の他が二人である、次は是等の犯人が冒した罪の種類から見れば逮捕された一萬二千幾何の約三分の一に相當する三千九百五十七人は窃盜犯で之が横綱である、夫れに次いで

◇多いの は詐欺犯人の二千二百四十二人と横領犯人の一千三百六十九人が兩大關格である、右の三種以外で千人以上あつたのは賭博と失火とで之れが關脇格である、其の他の犯人としては贓物に關する罪、傷害罪、猥褻姦淫並に重婚の罪、文書僞造、印章僞造、强盜、過失からの傷害及び致死等が順次に小結から前頭組の主なるものである、次に幕下とも見るべきものは

回阿片烟に關する罪、瀆職、通貨僞造、殺人、恐喝、逮捕不法監禁、器物毀棄、略取誘拐、家宅侵入、脅迫などの事件である、而して犯罪地は尚且市街地が大部分で犯罪の行はれたのも犯人の逮捕されたのも過半數は京城である、其の他の土地としては仁川、水原、開城などが多い、以上の犯罪を過去數年前に比較して見るに單に

◇殺伐な 殺人、傷害、强盜等のやうな事件は年々減つて行く代りに窃盜、詐欺、横領、文書及び印章の僞造に關するやうな比較的智能を要する犯罪がなか〳〵殖えて來るのは世の進運と伴つてゐる現象であらう、夫れから、贓物に關する罪と阿片烟に關するもの、並に

回婦女を强奪して 行く略取罪のやうなことは内地では殆ど無いが又あつても尠い事件であるが、朝鮮ではこれがなか〳〵多い、爲めに犯罪なるものが土地と場所と時間と人情風俗等に依つて自然に異ることが判る

◎セミヨノフ軍 形勢佳なり

後貝加爾に管區政廳　米國鐵道隊セ軍の占領地

（一）ブラゴエシチエンスクよりの情報に依るにセミヨノフの統率せる哥薩克部隊は赤色軍の擁護しつゝあるカルイムスカヤに向つて攻撃を開始せる爲め赤色軍はブラゴエシチエンスクより援兵を招きたるも結局赤色軍の敗北は免れざる可く而して哥薩克のカルイムスカヤ占領は明かなるものゝ如し

（二）ブルイキ驛來電、後貝加爾戰線に於て兩軍は交戰中なり二日セミヨノフ軍裝甲列車は過激派軍防禦の爲め砲隊及び大砲を輸送しつゝある所の壍壕に接近し之を砲擊せり（一）セ軍は既に後貝加爾に於ける七停車場（約百八十ヨルスト）を占領したるがアクシー村落に於ける約五百の哥薩克の應援はセ軍に對し多大なる援助を與へたり

（二）米國鐵道隊はセミヨノフ軍の占領せる後貝加爾鐵道百八十ヨルストを修繕の爲めセ軍に派遣さるべしとの説專ら傳へられつゝあり

（一）後貝加爾よりの報道によるにセミヨノフはタスキン及びシルニコフ將軍と後貝加爾管轄政府を組織したりと（哈爾賓）

哥薩克の外民兵も

オロヰヤンナヤに迫り機を窺ひつゝあるセミヨーノフ軍には後貝加爾コサツク兵の一部加擔し居れるが同地方一帶のコサツク民中三十五歳以下の青年全部もセ軍の麾下に加はり隊を組織せんとしつゝありと云ふ（長春）

◎運賃値上げか

◆荷主の要求と海運界◆

海運界の好況、船腹不足と云ふので到る處に船舶の引張り凧、船主は採算の上から見てより好き方面に自然其の船を向くると云ふ有樣、之が爲め最近に於ては仁川へ來る船舶の數が著しく減少して海運の寂しい事甚だしい殊に大阪商船の

◆定期船が廢せられ 從來毎月五六隻は南鮮航路を往復してゐたものが運賃其他の都合上傭船の不引合を生ずる樣になり之が爲め就航してゐた三隻の傭船を解除すると又一方には戰後の海運界に處する爲め南洋航路の開拓に依つて從來朝鮮沿岸の廻航をしてゐた三隻の船舶は此の方面へ引揚げらるゝと云ふ始末で大阪商船の船は全く來なくなつた定期船を失つた仁川では半定期の形ちにある尼が崎の數隻に依つて主として積荷を待つの有樣であるが之さへ前記の好況に採算するので純定期の如く確實と云ひ得ない最近大有丸の入港に際して積むべき筈の穀類を積まなくて之れに代る煙草を積むで歸ると云ふのは穀類を積むよりも煙草を積むだが遙かに有利であると云ふ船主の採算に出たものであるのは勿論で船主としては無理からぬ事だが船を當てにして待つて居る荷主に取つては斯の如き齟齬は大なる損害であらねばならぬ、仁川の輸出業者は此の大有の問題が起ると直ちに尼が崎に交渉を開始して穀類の積殘方を要求したが遂ひに無効に終り更らに然らば次回入港の豫定たる神代丸に此の補ひを著けて呉れとの要求も何んだが實行出來ないらしい

◆斯の如くにては 到底米價の高騰甚しき昨今荷主の堪へ得る處でなく輸出業者は此際商船、會社に向つて何等か仁川の輸出穀類に對する最も同情ある措置を要求しなければならぬ一方鐵道輸送力制限に依り滯貨實に二千と云ひ今後尚輸送の前途推想し難き今日海運に依る搬出亦斯の如き狀態に在つては仁川の貿易衰頽商況疲弊と云ふ慘たる狀況にならぬとも限らぬ、然るに現在海運界の狀態で船主はよく此の仁川荷主の要求に應じ得るや否は最も研究考慮しなければならぬ事として問題とせられて居るが推して以て其の妥協の終局を見る時は必ず幾分の運賃値上げを實行しない限りは決して仁川に船舶の入港を増す事は不可能事に屬するだらう、之は仁川の荷主に於ても相當に認められて居る事であるが果して幾何の程度に於て妥協點を得らるゝかは疑問である之に就て船舶會社側の意見を聞くに仁川の運賃は他港のそれに比して約五割方安い、それで今日の海運界の狀況では仁川に入港しよう筈が無い試みに其の噸當運賃を見ると大連は十四圓六十五錢門司九圓二十錢で仁川九圓六十錢と云ふので大連と仁川とは既に五圓の開きがある然るに航行の經費を見る時は大連と仁川とは斯く大きな等差を附すべきものでないとの事であるから現在の比較から打算すれば仁川の現在運賃百六十圓は一躍二百二十圓に値上げしなければならぬと云ふのである然し

◆一時に此多額の 値上げは荷主の堪る所でなく且つ又獨り仁川の値上げに依つて釜山は依然百三十圓とすれば輸出貨物は悉く釜山其他に吸集されて仁川へ廻殺するものは皆無となつて來るの恐れがある、斯の如き狀況の下にある船腹問題が如何にして解決せられ輸出業者の希望に添ふ事が出來る樣になるだらうか目下研究中に屬するから早晩何等かの提案が得らるゝだらう

◎ニシキギの本家

奉天北陵の植物は曾て朝鮮水原農林學校の植木教授の談を記したとがあつたが調べて見たら面白からう、殊に石本深吉將軍のおはなしによれば『錦木』はむかしその枝に飾ひなかいて乙女の家に投げたものだ錦木にもある──とのことであつた（奉天）

◎湖南吟社兼題

大田湖南吟社五月兼題は若楓初鰹の各二句にしてこの〆切期日は五月十六日投吟所は大田春日町森川桂雨氏宅なり因に同社同人以外の人の投稿をも歡迎する由（大田）

◎奉天精糖のストライキ後報（下）

◇職工側の云ひ分と會社側の云ひ分◇

而して現に角瀨年は逸物の砂糖大根の栽培者を困らせ職工とは創立以來いつもゴタ〳〵ばかりの有樣では多少世間體もよくあるまい、折角の滿洲に與つた好感業の爲めに遺憾に堪へぬ

◆會社側は曰く◆ 次に會社の鑷淵庶務課長曰く、ストライキも漸く落著しました、何分四人の總代は滿洲ゴロで酷い奴等ばかりです、工場で慘死した高橋には葬式料、通信費、弔慰金等萬端で百三四十圓かゝりました、肺病の男は當社を出した者ですから一文もやりませんでした竹内は（噂舌の巧みな男で彼の爲めには）當社の技師が多年育てた子分までも加擔して了ひました、それで重役よりも技師が怒つて居るやうな始末です、會社が職工に對し落成祝ひも何もしないのは只今の處損ばかりでそんな金の要るとをして居られません其代り先日三百圓かけた運動會を催しました（奉天）

厦門より

鼓浪嶼にて　高 荻 生

○當地は各國居留地の事とて其主權は英國政府之を握り警察官も印度人の赤帽連を使役致居候爲め幾何か清潔を保ち居候へども帶水を距てたる厦門の如きは市中屎尿の流溢するを觀市街暗黑にして惡臭鼻を衝き二層樓三層樓より遠慮なく小便又は汚水を市街に投棄して平然たるものに候二十年以前の傾き當時又は併合以前の朝鮮抔到底同日の談に無之人あり世界一の不潔市街は厦門なりとは吾を欺かずと覺え候、虎疫、黑死病、天然痘四季を通じて潜伏致居り候由

○新設博愛會醫院の竣工前は往診を爲すと特色に御座候三人昇四人昇より八人昇位の籠にて往診先生の鼻の高さ吾々事務員は羨敷候往診料は五十兆迄の定なれども支那人根性にて最高額を出すもの無之候へども先づ十兆（金の十五圓）位は通常醫師の懷中を賑むる譯に御座候博愛院に始め各科の醫長連は何れも臺灣總督府の無給（年俸五十圓）技師にて高等官何等從何位御座候へども博愛會は日支人合辦の財團法人にて年々督府より補助として數萬圓の交付を受け（厦門在留の臺灣籍民保護の名に於て）之を以て經營するものに候爲めに幾分官臭を脫したる遣り口には面白味も有之候

○厦門の成績如何は今後の日支南洋發展方針に至大の關係有之候義に有之吾々も幾分か其責任の重きを自覺仕居候本年七八月頃よりは福州及び廣東の二箇所へ新設の事と可相成哉に承及候御承知の通り厦門は人口二百萬餘を有し支那人漢法醫にして入院患者六百名餘を收容する獨力經營の醫院も有之殊に排日熱大分旺盛の地なれば此地の經營は頗る手腕を要すべく存候目下夫々人選中の由に候

○當地方にて尤も不思議に感ずるは女醫の隆盛に御座候其の女醫なるものは臺北にて看護婦又は助産婦の業を卒へたるものにて當地にては專ら女醫となりすまし小兒科婦人科産科を看板とし就中内科を標榜するものすら有之危險至極に存候之れ等の亭主は野樂くらもの多く妻に養はれ居るを常とし妻の出入は二人昇又は三人昇にて豪然たるものに候厦門醫院等に於ても女醫の雇傭を主張致居候次第に有之日本女醫獨力經營者を推奨致度候

▲十日後場 大阪前止二千五圓九十三錢後寄未著中限二十二圓十五錢より十錢先

仁川米

…に返し結局〆二錢と不勢の…告げたり

▲後場當限三圓二十一圓九十錢 ▲中限一節二十二圓十五錢七錢半 二節二十三錢四錢

▲先限一節二十二… 二十三錢 四錢 三錢 四錢 五錢 六

十日の七月限　仁川米豆取引所

◆連絡船上陸客 九日午後釜山入港新羅丸一二三等客

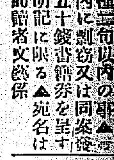
▲物は付『可笑しくても笑へないもの』

十二日 十三日 十四日 十五日 十六日 十七日

見逃告者には五十錢書籍券を呈す

京城日報編輯局臨時名文藝係

報 豫



◆京城溫度（四月十日正午） 京城測候所調

ホテイビール

ホテイビールは品質風味醇良無比

何卒御愛飲を乞ふ

釀造元 旅順桃園町 滿洲麥酒釀造所

發賣元 滿洲殖産株式會社

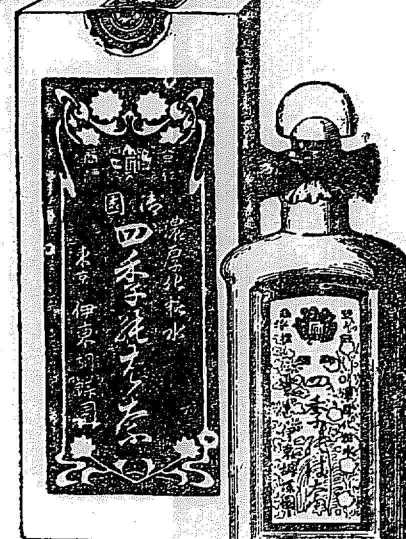
公評一致

何人の心理も皆一つでございます

ウヅマキ石鹸

過去數年辿り來つた表裏反覆のない需用家皆樣に忠實な其の製法は果然！江湖一般に認められ『品がよい！何となく使心地がよい！』と公評一致の下に全國を通じて需用が激增したこの慶ばしい消息を得ました

東京横山町 天野磯五郎



（定價 金二十錢 金五十錢）

御園四季の花

高尚な美しい御化粧をなさるには平素肌を養ふ事が肝心です。洗面後、入浴後に化粧水御園四季の花を缺さずお粧遊ばすと、肌の荒を絶對に防ぎ肌理を細かく滑かにする特効がありますから、白粉は何時でも思の儘に美しく着きます。

御料御園白粉本舗 伊東胡蝶園

御料御園白粉發賣元 丸見屋商店

83)

塚原卜傳

悟道軒圓玉口演

第七十一席

鬼小島彌太郎、鐵上野介の兩人は、戰場萬馬往來をして鬼神の聞えを取つたる豪傑、小賊共の五人や十人、中々敵すべきではございません、皆なバタ〳〵其所へ斬つて落されましたゆゑ、流石の坊主も此體を見て逃げようとする跳り掛つた小太郎勝錢、眞向から斬下ろした一刀、受損じて腦天から鼻柱へ掛けて眞二ツ、ギヤツと云つて其所へ倒れる、鬼小島は手下の死骸を庭前へ投り出して居たが、今坊主が倒れるを見て突然足を取つて一ト振り振るエイツ躑石へ投付けた此では堪りません、前に小太郎に斬られて居る其所へ叩き付

けられたので目も鼻も滅茶苦茶になつて了つた、先づ之で宜かつた外に未だ居はせぬかと尋ねたが、モー別に誰も居りません、處へ藤田權頭が本堂から出て參りまして權『八重、どうしてお前は玆へ來た』と尋ねる良人の顏を見たお連合の喜び、娘の操『お父樣でございますか』と權頭の膝へ取縋り親子三人互ひに手を取り共の喜こびは一方でございません、權頭は權『さてお前はどうして此處へ來た』と尋ねられてお八重は涙と共に委細の事を物語りました、玆でお話が一寸跡へ戻る、何で此の權頭のお連合が斯ういふ所へ來たといふに、二人の供を連れて大杉山を立退いて、知己の許に暫らく隱れて居りました處が、笠間の松原に於て權頭が磔刑になるといふ時に、塚原小太郎が乘込んで參り遂に權頭を助け行方知れず、ソこで權頭の妻子を厳しく詮議になりましたから、今は知己の許にも足を止めて居る譯になりません、乃で姿を變へて立退き彼所此所と徘徊ひまして、漸々信濃路へ出で越後の春日山の平賀志摩守の許へ參りまする考へ、漸々四人がやつて參りましたのは丁度下諏訪、その手前の原へ掛りますると源右衛門は年寄の事、大事を取りまして源『五助や、モー大分刻限も遲れたやうだから後へ歸つて今夜は宿へ著いて、明日の朝早く立たうこ何だか行く先は大きな原で、泊る所も容易にないやうに思はれる、原中で日が暮れては難儀をするから、さうした方が宜からう　五『源右衛門さん私は此邊の地の理は能く知つて居りますから、決して御心配をなさるには及びません、之から後へ引返しては大變に道損をしなければならない、是を西北の方へ突切つて行くとナ一二夫は淺許も道はございません、立派な宿屋が澤山ある所へ出ます、私は此の邊の案内は委しいので、度々通つて近道を知つて居るので御心配はございません、跡へ付いてお出でなさい　源『さうかい、宜いかな　五『エ、宜しうございます、私が御案内をいたしまする』と先へ立つて娘の操を脊負つて五助はスタ〳〵行く共跡へ尾いて源右衛門とお八重原中へ掛つて來た、モー日は暮れ近くになつた　源『五助や、末だ人家の有る所へは餘程あるか　五『何に向に森が見ねます、アノ森の所が丁度里へ出る所なので、森を一ツ越すと宿屋が澤山あつて此の近邊で名代の繁昌な所で、決してモー御心配はございません、源『さうかな、何んだか何うも日が暮れさうだから心配でならん』と源右衛門が頻りに氣を揉んで居る、先に立つた五助がアツといふと前へドーンと蹶いたので　五『アイタ……』痛タタ、源『五助や、石にでも蹶いたのではないか、氣を注けたくては往かぬ、どうした五助……五『ハイ、オ、痛い、お孃さん、おンりして下さい、大きな石があつて蹶躓いて生爪を剝した樣子、アイタ………』と背負て居た操を夫へ下ろしました。

舟遊びには
漢江遊船俱樂部
龍山電話一〇番へ
御一報次第參上

五月十二日　九星
舊四月三日　己未
本命五黄　八方　滿　赤口

演藝案內

櫻井町　大正館　電話八七三

本町五丁目　稻荷座　電話二參二八

京城壽町　壽座　電話五七八番

黃金館

有樂館

京城本町　壽館　電話一〇五〇
當る五月十一十二日二日間午後六時より
淨瑠璃大會
▲志渡寺（梅照）▲八百屋（兒雀）▲太十（梅壽）▲酒屋（喜堂）▲合邦（東山）▲御殿（富士）▲又助▲赤垣（昭盛）▲鳴戶▲宿屋（如雲）
三味線　野澤吉清
竹本梅若　竹本奈良
木戶下足無料

乳の出る妙藥發見!!

産後乳の出なく又は平素不足な程氣の毒な人はない況して見供を育てる母親の身にとつては何一層困難です牛乳ミルク等で育てるには澤山なお金が入り其の上手數が並大抵でありません又腹氣になるにつれ腐敗し易く赤兒の胃と腸を悪くしだん〳〵痩る一方です、ですから赤兒を育てるには達者な母親の乳に限ると一般の大醫方が云はれて居ります世の中に産後乳の出なくて隣り近所で貰ひ乳したり牛乳とかミルクで代用し難儀して居らる方は一時も早く（ハガキ）にて申込になれば今回苦心の上發見になる不思議によく出る藥の委しく書いた說明書を送る。
大阪東區東雲町停留所前　いづみ屋

軍隊毛布

露國に送るべき防寒用毛布が革命の爲遂に約定品を引取らず今回不得止期限遲れではあるが其品を大に賣出す希望者は至急一ハガキで申込め二枚續き一組式圓九十八錢で一注文あれ受付順に代金引換便で送る多くならば當低五圓以下では買へぬ品である數に限りあれば賣切れ後は送付せず
東京神田　東京被服用達社

懸償尋ね人

原籍和歌山縣日高郡印南町大字印南一七六一番地戶主直次郎妹
妓名萬壽子事　實野お榮（二十二）
右私方抱妓方月四日朝逃亡致候に就ては發見至急御通知被下候方へ
金五十圓呈上可仕候
平壤旭町美好樓主　中村好藏

しんぞう病

心臟病に効正しき他に又となき播秘藥を往復葉書で申込次第詳報す
播磨國明石東魚町　多聞兵吉

毒の病
筋骨の病を救ふ

梅毒、淋病、リウマチス、瘰癧、痔疾……
東京淺草千束町二丁目二五五
株式會社　旭製劑頒藥部

抵當流れ大見切
新絞縮緬兵兒帶

昨秋某大問屋の抵當流品を今回整理の爲前記捨賣同樣の大見切賣す
賣切れぬ内急ぎ注文あれ送方はハガキにて申込次第代金引換で送る
東京市赤坂區田町七ノ二　東洋商會

男の生殖器病

專賣特許　眞空療法器を自宅で簡單秘密に使用せば生殖器發育不完全、包莖、早漏、陰萎、遺精、腦神經衰弱、慢性淋病等は容易に治す二大醫學博士も其實效を證明し實驗諸氏の賞讃湧くが如しハガキで申込あれ非賣品圖入說明書を無代封送す
電話神田七二三番　東京　眞空療法研究所

人事百般周旋業　萬年社

京城府明治町武丁目　電話長一八四四番

優等清酒

賀茂鶴
廣島縣西條町
釀造元　木村靜彥
京城府鍾路（中央市場）
發賣元　河野酒店　電話三一〇八番

内科　眼科　小兒科

京城黃金町三丁目赤門通（電車停留所前）
本田醫院　院長　本田建義
附屬　京城肛門病痔疾療院
電話二四四二番　振替京城三三八番
肛門病の諸痔疾特種注射根治療法解說書入用の方郵券十二錢要す

新舊對照　朝鮮全道府郡面里洞名稱一覽

司法大臣　松室致閣下題字
京城地方法院所屬辯護士法學士　加古貞太郎先生序文
前韓國財政顧問附財務官　小笠原寬先生序文
法政大學校友　關西大學校友　越智唯七編纂
發賣元　京城日報社代理部

大正七年一月一日現在正誤表附總クロース金文字入菊版千百五十頁定價金三圓郵稅十八錢

本書は府郡廢合の整理と既に結了したる土地調査局の調査により確定したる朝鮮全道の行政區域の新舊を對照し錯綜混雜せる沿革を明にしたるものにして一目瞭然たる道、府、郡、島廳及面事務所の所在地を示し、末尾に朝鮮の沿革、日、鮮、清、西暦の詳細なる對照年號を示し管區數、人口戶數、道路里數、各道の廣袤、交通、産物名稱、舊跡、温泉其他の概況を掲げ本書は官廳執務上を初め政治家、實業家、學者、交通、産業其の他苟も朝鮮に關係を有し朝鮮に精通せむとする士の須臾も缺くへからさるの必携書なり

發行所　京城太平通一丁目　振替京城三〇〇番　京城日報社代理部

一番よくきく

日ヤケ止は　クラブ洗粉の本店謹製の

クラブ美身クリーム

此のクラブ美身クリームは素顔の美を增し白粉の附を良くする品質第一のアレ、日ヤケ止にして畏くも

皇后宮職御用品

たるの光榮を辱うしつゝあり。

汽車
京釜線（南行）　同（北行）　京義線（南行）　同（北行）　京元線（南行）　同（北行）　京仁線（仁川行）　同（京城行）　湖南線

第五版
京城日報
五月十一日朝刊（朝夕刊を併せて八頁）
本紙定價　一部金五錢　一ヶ月金七十五錢
發行所　京城太平通一丁目　京城日報社
發行兼編輯人　小川三之介

京城日報

戰局如何

三月二十一日獨軍大攻勢を取りてより後既に五旬、英佛軍は若干の陣地を撤して退き、獨軍は其だけ進出し得たりと云ふに過ぎずして、何等決定的爭鬪を見ず此分ならば、今後數週將た數旬を重ねたりとて、是れより以上の變化を持ち來たすべき見込みなく千九百十八年の春季戰鬪は此に其終結を告ぐるに至るべく、春季戰鬪其終を告ぐるも、戰役の前途は猶ほ悠久なり。

此春季戰鬪は、今日までの經過に徵して云へば、味方に利ありとは云ふ能はずして、其一旦占據したる地方を放棄せざるべからざるに至れる主一原因は、獨軍其兵を露西亞羅馬尼戰線より移し來りて、之を佛蘭西白耳義戰線に集中したる爲めに英佛軍は衆寡敵せずして退きたりと云ふにあり、英吉利、佛蘭西、白耳義、伊太利及び北米合衆國の連合軍を以てして、獨逸一國の軍隊よりも寡しと云ふは、如何にも不合理なるに似たりと雖も、露羅兩國が餘りに脆く挫屈したる爲め、敵軍の西部集中極めて早かりしに由り、右の如き逆算を生じたる次第にして、今更誰彼を咎むるの必要もこれ無し、只幸に英佛軍は敵の決死的攻擊を受けたるに拘はらず、能く其共同作用を保持し、獨軍の英佛軍突破計畫をして、水泡に歸せしめたるの忍耐力は、甚だ稱揚するに値す。

今日の大勢に就て之を觀るに、敵は既に其人力の全體を傾倒し盡して、最早其餘盈なきに反して、味方は兵員極めて豐富なり、英吉利のみを以てするも五百萬六百萬の兵員を擁して、徐ろに其を用ふべきの機會の至るを待ち、北米合衆國に至りては、其人口一億を容るゝの大國を擧げて皆兵たるの法制を定め、今年中には佛蘭西戰線に二百萬の兵員を送致すべき經畫あり、英米兩國の兵力を合せて敵に當るの日は、則ち敵の死命を制するの日たり、敵は獨逸、墺匈國、土耳其、勃牙利の中歐同盟なりと云ふも、土耳其、勃牙利は初より言ふに足らず、墺匈國は只さへ國內の不統一に苦む折柄、五箇年に渉る大戰役にて疲弊其行詰に徹し、其士崩瓦解日を指して待べきものありて、乃ち剩すところ只獨逸一國のみなれども、其獨逸も實力既に漸く竭きし、能く久しきを持するを得ざるのみならず、普魯西と各聯邦との乖離、社會民主黨と他の黨派との衝突、資本家と勞働者との爭鬪等にて、戰役一日を延ぶれば一日だけ其帝國の存在を危ふくするの實あり、是れ其の佛蘭西、白耳義戰線に於て決戰を急ぐ他の一方には、墺匈國を頤使し、羅馬法皇に愁訴して、講和運動に是れ努めたる所以なれども、我味方より之を見れば、今日は決戰又は講和共に不可なり、少くとも英米兩軍其全力を戰線に致し得るまで、決戰を避けざるべからずして、今日英吉利、北米合衆國共に其造船經畫に齟齬を生じ、豫定の時日に豫定の船舶を得る能はざるの爲めに、萬事遲延すべき情形ありと雖も、是れ事にあらざれども、戰鬪久しきを持するに從て、勝利は益々味方に歸すべきは理數の明白なるところなり。

朝鮮の書畫に就て（二）

鮎貝房之進氏談

三國史記には唯、率居は皇龍寺の壁畫と慶州芬皇寺の觀音菩薩の像並びに晉州斷俗寺の維摩の像の三つを書いたといふことのみで何時頃の年代の人であるかを示さない處が李朝になつて宣祖朝の考證家であつた李晬光といふ人、號を芝峰と謂つた。其の人の書いた芝峰類說に據ると率居といふ者は眞興王の時の人であると書いて居る。さうして夫れ以後の記錄は皆芝峰類說に倣つて眞興王の時の人として居る。然るに仔細にこれを研究して見ると芬皇寺といふものは新羅善德王の三年に創立され、斷俗寺は景德王の時に創立されたのであつて、松を書いたといふ皇龍寺の方は眞興王の十四年に創立されたのである。すると其の間約百年より二百年の隔りがある。隨つて龍寺の壁畫を書き、夫れから百乃至二百年を經た後に芬皇寺の觀音像を書いたといふが如きは人普通の年齡として信じ難いことで

になるのである。故に皇龍寺及び芬皇寺の畫は同寺創立の時でなく創立以後に書いたものとすれば差支へないことになるのである。或は又芬皇寺、斷俗寺に率居の書いた畫が保存されてあると解釋すれば差支へなきやうなものであるが、夫れは文脈の上率直たるを免れませぬから、自然芝峰類說の眞興王の時の人であるといふ說は妄說に歸する。處が餘り古からぬ掲板があつて、夫れを書き寫した材料であるが慶州の栢栗寺に一の掲板があつて、夫れは或る本で見たのであるが、これが萬曆三十六年の掲板である。これに據ると新羅の神文王の時に一つの木が慶州の閼川に漂着した。其の時會ま唐人僧璿といふ者があつて、新羅に入り來り、名を率居と改め嘗て松を謂いたが恰も異物のやうであるので靈信を生じた。王、この率居に命じ其の漂着した木を見せしめたが、栢檀香木である處から又率居に命じて觀音の像三體を刻せしめた、栢栗寺、衆生寺、般藏寺の三寺に安置したと書いてある。又或る人が觀音像三體を刻して前に述べた三寺に置いたといふことは獨り此の掲板のみでなく三國遺事にも書いてある。若し萬曆三十六年の栢栗寺に於ける掲板のみであれば私は左程に重きを措いて信じないが、三國遺事にも書いてあるから無稽の口碑を書いたものと一概に排することが出來ないので必らずや其處に何か疑の存して居ることであると思はれる。隨つて率居といふ者に就ては第一に其の時代に疑問あり第二に半島人なるか唐人なるかにも疑問を生ずるのである。然らば何故斯樣なことを調べる必要があるかといふに、日本でも其の通りで例へば法隆寺金堂の壁畫を書いた鳥佛師の如きも全く司馬氏であつて、所謂樂浪帶方等の漢民族の移住者が百濟高句麗の人と稱されて日本に行つたので、其の時代に果して日本に文明の淵源ともなるべき古美術の存して居つたか否や、といふことも一つの疑問となるので隨つて輕々に斷ずる譯にいかぬのである。

歸化鮮人と視察鮮人の感想（二）

槐翁

○視察者は、更に語を進めて曰く『彼等の中には、陸軍將校もあれば、海軍將校もあります。外交官もあれば、縣會議員もあります。醫學士もあれば、文學士や、法學士もあれば、其中には名門巨族の後繼となつたものもあります。而して彼等は日本人間に於ても、一頭角を露して居るのであります。殊に忠君愛國の念が旺盛で、日淸日露の戰役には、偉勳を建て、軍人の最も名譽とする金鵄勳章を拜受し、其の年金として、毎年一萬餘圓づゝ、此の村に這入つて來るのであります。

○彼等は、實に幸福なものであります。三百年前に、早や大日本帝國民になつて居つたので、我々が三百年間一日の如く、苦痛を受けて居つたのに反して、三百年間ただ一日の如く、島津公の愛護を受けて、今では立派な純然たる帝國の一等國民となつて聖化に浴して居るではありませんか。我々も、今や、天皇陛下の御聖澤に浴する、幸福の民となりましたが彼等よりは、慥かに落伍者でありました。

○然しながら、彼等は、三百年前吾人の同胞であつて、今日また再び三百年後の同胞となつたのでありますから、我等在鮮同胞の指導啓發に對して他の普通の日本人よりは、より以上の盡力をするでありませう。また其の幸福の一半を分つでありませう。有志家の一人は、有爲な青年を送つて呉れよ。世話もすれば、面倒も見てやらう、自分も是非一度は朝鮮の現狀を見に往く積りであると申して居りました。

○それにしても思ふは、今日我々をして、彼等と邂逅せしめたのは何の德でありませうか。吾人が彼等と提攜し、日鮮同化の第一人として、其の範を示さんとするのは何の力でせうか。聖天子の化協の一に在るは、申すも畏きことなれど、島津公の遺德鴻恩を切に謳歌して已まぬものであります』と。吾人は、叙上の感想を聞くに及んで、手の舞ひ足の踏む所を知らぬ。蓋し此の感想は、彼れ一人の感想ではあるまい。彼等と會語した視察鮮人は共に同感を起したであらう。而して之れが、彼等視察者によつて、全道に傳へらるゝ時は、二千萬の同胞も共に共感を起すであらう（完）

愛劍趣味（七）

片岡鶴泉

承元の二年は元曆に改まり即ち後鳥羽帝の御世となり此の歲より弘安の頃御宇多帝の御治世に至るまで九十餘年間を第二期と假定して其が戰亂の跡を觀ずれば文治元年には源平兩軍壇の浦に戰ひ平氏滅亡し仲恭帝の承久三年に於て朝廷關東征討の擧あり北條泰時官軍を破て六波羅に入り七月後鳥羽上皇を隱岐に遷し奉る（畧）龜山帝の文永十一年には蒙古軍我が壹岐對馬に寇す後宇多帝の建治四年元兵大擧して筑前に寇す我が軍は善戰と天佑を以て之を全滅せり斯く北條氏武門の跋扈と國難に因り武器の製作益々必要となり刀匠全國に繁榮せしが勿體なくも後鳥羽上皇御親ら鍛冶の術を研究し給ひて有名の御作あり殊に備前國則宗（一文字）及び粟田口國安外十人の御番鍛冶を召せられ何れも天下の名工なるが備中包次、備前包道及び粟田口國友以下二十二人を代番に御定めあり之れ又稀有の巨匠にして日本刀の神妙精華は此の秋に發現したりと云ふを得べく就中則宗が重花丁子の燒刃は恰も朝露を含める御所櫻の十六重に咲き綴るが如く又府の或は綾り或は湧くが如く其が風情の作は縮なる底無きを以て盡し難しとは知るもの譜詳なり倍て承久三年に至り提れ多くも御鳥羽上皇隱岐へ御遷りの際粟田口則國同國綱（國綱後鎌倉に下る）並に備前國宗吉同吉同信正同助則の五人を召し運れて鍛刀に御丹精遊ばされ時々九條に詣は屆從の一員として御際に侍し御合槌を取り或は得意の燒刃を付けしこともありと云ふ余に嘗て忠に時信之燒の銘ある太刀を拜觀したることあり斯は身巾狹き際の反にて品位神々しき綱直刃なりしが賞たる匂ひに霧の如き小沸かゝりし樣は言はんかたなく梨地の肌は能く練れて羽二重と見るべく大鋒鋩子は凜さして尊嚴を示し余は古歌の『何事のおはしますかは知らねども辱じけなさに淚こぼるゝ』の感に堪へざりき

日報詩壇

豆腐　安永春雨

豆精淡味自津津。雪白溫柔瞰八珍。淸淡當筵寒士膳。可忘稱粒廢心人。

評曰 正是風人比與之言、

大隈侯爵主宰

大觀

時局艱難にして國論迷ふ!!

指導か順應か逆行か……尾崎行雄
露國の解體と世界の動搖……大隈侯爵
米國の參戰と其本領……鹽澤博士

過去の世界的大戰の文明史上に及ぼせる影響

ペルシヤ戰役……坂口博士
歷山大王の東征……坂口博士
ポエニ戰役……村川博士
聖十字軍……大類博士
百年戰爭……植村學士
三十年戰爭……阿部教授
七年戰爭……中村教授
米國獨立戰爭……齋藤教授
佛蘭西大革命……浮田博士
ナポレオン戰爭……箕作博士
奈翁三世の戰爭……煙山教授
南北戰爭……松村介石
普墺戰爭と普佛戰爭……蜷川博士
露土戰爭……林教授
日露戰役……建部博士
バルカン戰爭……長瀨鳳輔

驕奢五千有餘萬……江木博士
大隈侯爵座談（侯の卓識せる人格より生れ出たる活ける隨筆なり）
海軍と海賊……久米博士（讀此の偉人の俊邁なる風貌に接するの感あらむ）

巨人默する能はずして再び起つ!!

發刊の辭……侯爵 大隈重信
侯と言論……子爵 加藤高明
新しき階級戰爭……五來素川
レーニン優勢心理……片上伸
政界裏のうら（本野外相辭職の眞相）……目白臺禪士

物價調節論（今の最大問題に對する根本的研究は本號にあり）
○物價調節の根本義……河津博士
○物價調節根本問題……田中博士
○物價調節問題について……神戶博士
○物價調節の意義と方法……濱口雄幸
○調節に根本政策なし……田尻子爵

新東京市長田尻北雷論

新論と創作
北條義時の死……坪內逍遙
ファウストに現はれたる人生觀……金子筑水
文藝評論序……片上伸
ある山莊（小說）……田山花袋
少女の手紙（小說）……上司小劍

創刊號 大觀社

世界唯一ノ寶庫開ケタリ

賜天覽

改訂增補 農業奇書 全

大日本農會 獎勵會發行

第一版賣切忽チ第二版發行

第四回株金拂込公告

一、拂込金額　壹株ニ付金貳拾五圓也
一、拂込期間　大正七年自六月四日至六月八日
一、拂込場所　當行本店、支店、出張所、株式會社第一銀行（朝鮮、名古屋、京都、下關各支店）

右拂込相成度公告候也

大正七年五月十日

朝鮮銀行

第十三回營業報告

朝鮮煙草株式會社

法人登記公告

楊平出張所

最新 一九一七年式 新フオード自動車

五人乘 金壹千九百圓
八人乘 金貳千貳百圓

▲新荷著

在庫品切の虞れ有之候間至急御用命仰附被下度候

京城市竹添町一丁目

株式會社 セールフレザー 出張所

鑛山用

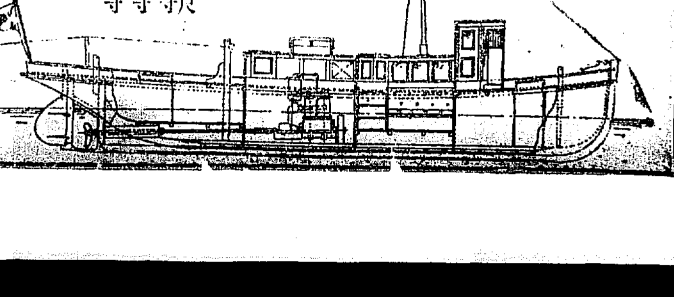
汽罐及汽機在庫豐富

中根式坑內押揚ポンプ製作發賣元

京城南大門外 中根商會
練兵町前 中根工場

十時以下二時迄在庫豐富

發動機船
長廿七尺
巾六尺二寸
深二尺三寸
船體
京城
所在地
中根工場



◎モ將軍書翰發表問題
ボナーロー氏の聲明

ボナーロー氏は英國下院に於てモーリス將軍が諸新聞に送りたる書翰に據りて發表せられたる事件に就き演說して曰く最高の親任を得て重要の地位にある官吏が國務大臣の行動に對して反對を表し其行動を審査せんとする場合假しや其事緊要なるにもせよ其都度審査を行ふに於ては國務は進行す可きに非ず然りと雖も今回の事件は國務大臣の體面に關し事態輕からざるを以て政府は陛下の裁判を請ひて審問會を開き國務大臣の議會に於て說述せる處の當否如何を審査し成る可く速に其結果を報告せしむるやう奏請に及びたりと(倫敦電報)

◎米、佛派兵五十萬

米國陸軍大臣ベーカー氏は發表して曰く『既に佛國に派遣されたる米國兵は五十萬を超ゆ』と(華盛頓電報)

◎對英貸付千五百萬

米國は英國に對し更に千五百萬磅を貸付たるが英國に貸付けたる總額は是にて十億磅に達す(華盛頓電報)

◎過激派支那商壓迫
外交部抗議を提出す

蒙古庫倫駐在辦事大臣等は九日外交部に對し露西亞過激派は支那商人多數の財産を差押へ損害莫大なる旨電告し來れり依て外交部は直に露國在留の官吏に命じ過激派政府に抗議を提出せり(北京特電)

◎山東省借款成立

山東財政署と英米煙草トラストの間に三百萬元の借款成立せり(濟南特電)

◎五分利付國庫債券發行
總額五千萬圓、來る廿日より受付開始

政府は十一日大藏省令を以て五分利付國庫債券(ロ號)五千萬圓發行の件を發布す可き旨十日午後四時發表せり其條件左の如し(東京特電)
▲發行額 五千萬圓▲發行價格 九十五圓二十五錢▲期限 五年
利率年五分▲申込開始 五月二十日▲締切 五月二十二日▲募入決定 五月二十七日▲拂込 第一回 五月二十七日(保證金振替五圓)、第二回 六月六日、九十圓二十五錢▲利廻り 年六分二厘四毛

◎朝鮮製油會社設立
資本金五十萬圓=本月中に第一回拂込を完了す

日本棉花會社關係者及び三菱系有力者發起となり資本金五十萬圓にて朝鮮製油株式會社創立の計畫を定め今回認可を得たるが總株一萬株は發企人贊成人にて是れを引受け本月中第一回拂込を爲す可しと(東京特電)

◎興銀活躍
營業範圍擴大

日本興業銀行にては十日午後一時より臨時株主總會を開き船舶抵當貸出し株式應募及び引受を新に營業目的に加ふる事に就き定款の改正を附議可決せり(東京特電)

◎深川白米値下

期米大暴落を演じたる結果十日午後一時深川白米小賣商組合は協議の上十一日より各等米六十錢宛の値下を實行するに決定せり(東京特電)

◎關東州官有地競賣細則發布

關東州官有地競賣に關する細則は十日都督府告示第六十九號を以て發布され久しく問題たりし大連官有地拂下の方法決定せり(大連特電)

◎旅團幹部演習

野島少將以下將校十六名は十四旅團幹部演習の爲め十日午前七時半著にて來安せるが十一、二兩日九連城戰跡にて演習擧行の上歸任の豫定也(安東特電)

◎總督清津出發

長谷川總督一行は十日朝九時旅[illegible]を出で總督は腕車隨員は騎馬にて儀仗兵を先發に官民學校生徒等多數の見送りを受け出發せり(淸津特電)

◎松平總領事視察

松平天津總領事は十日午前十時半著列車にて來安市中視察直に同列車にて出發せるが驛には領事夫妻其他送迎者多數ありたり(安東縣特電)

◎島鐵道院技監

島鐵道院技監は十日朝下關著八幡に向ひ製鐵所其他東海鋼業會社を視察したるが十一日歸任の筈なり(門司特電)

◎京畿桑田反別

京畿道管內に於ける大正六年度桑田反別を聞くに桑田計一千八百五十四町一反にして山桑利用見込反別四百六十九町を算せり右桑田一千八百五十四町一反の內反別は七百八十五町二反にして見積反別一千六十八町九反なり因に反別とは桑樹のみを栽培せる桑田の面積にして見積反別とあるは主なる作物の間に混植せる桑樹又は畦畔等に散在せる桑葉の擴大面積を稱せるなりと

◎山本氏の事業經營
水稻耕作及び養魚經營

松島洋行主山本唯三郎氏は水稻耕作及び養魚事業經營の目的を以て京畿道管內富川金浦兩郡に亙り干潟地面積四千九百餘町步を向ふ十箇年間無料貸付に關し豫て總督府に對し出願する所ありしが愈々五月七日附を以て

▲許可の指令 ありたり今右に關し其事業計畫の概要を聞くに貸付許可を受けたる前記地域干潟地の沿海岸に潮止堤防を築造し潮拔其他排給水に必要なる工事を施し水稻耕作及び養魚を爲す目的を以て開墾事業を經營するものにして總經費豫算四百萬圓を計上し事業の設計は先づ貸付地總面積四千九百十一町五反步に對し耕作有効面積四千六十四町四段餘步及び養魚地充當面積二百八十九町三段餘步となせり今此大面積の地を開墾して水稻耕作及養魚を爲さんとするに當り現在此地域を擁する所の

▲集水流域は 七百四十七餘町步にして殆んど用水絕無の狀態なるを以て這般の設計に於ては此給水方法を研究し遠く金浦郡金浦邑附近の淺江より取入るゝことゝなせり而して又養魚事業は金浦郡丹面安東浦附近より落下する下流の殆んど流末に位置を定め潟は干潟地平均面より約二十尺深く幅六十餘間水面二百二十七町步を養魚地となし春夏秋の間に鯔、鯉を捕獲し冬季迄蓄養し置き京城仁川を始め鐵道沿線に販賣する計畫にして一面小作人の冬季農閑の時に捕魚及び運搬等の雜役に於て

▲其副業を增さんとする ものなりと尙十箇年間毎年事業を成功すべき土地の種類及び其面積を聞くに第一年度事業豫定地の準備及び測量設計調査第二年度工事著手並に工事一部の竣工第三年度工事全部の竣工揚水機關の運轉第四年度潮拔の爲め田面に灌水し給水を除き約八箇月間機關の運轉を繼續し灌水をなし第五年度前年度に引續き同樣潮拔作業を爲し第六年度開墾面積二千三百七十三町步を耕面積二千百二十五町步を成功し水稻の植付を開始し之が收穫を了し第七年度

▲新開墾面積 四百町步を耕面積三百五十八町餘を增加成功し同樣の農作を了せしむ第八年度新開墾面積四百五十町九反步を耕面積四百三町七反を擴張增加し同樣の耕作を了せしむ第九年度新開墾面積五百四十三町步を耕面積四百八十六町を擴張增加し同樣の農作を了せしむ第十年度新開墾面積七百七十二町步を耕面積六百九十一町三反步即ち出願區域全部に於て豫定の事業を完成するものなりと

◎東拓增資株公募
增資は事業の進展上當然

東洋拓殖會社にて來る二十二日の株主總會に現資本金一千萬圓を

▲二千萬圓 に增加するの提案をなす事は昨夕刊東京電報の如きが增加株式二十萬株の處分に就て聞く處よれば右の內十七萬株は現在株主に割當て政府持株の三萬株に相當する同數の株式はプレミヤム附にて一般に公募すべくその方法等は株主總會に附議決定するものたり又增資理由は同社の營業區域擴大と事業方面の進展に伴ひ資金の需要急なると最近大會社大銀行は何れも增資を行ひ其の基礎を固めつゝあるに付東拓も亦此の潮流に棹さゝしむるものならん又當期の配當は五厘增配の七分說と一分增配の

▲七分五厘 說とありしも一般事業會社の配當好況なると大正六年度に於ける會社の活動により米價の昂騰と金融部の營業成績は未曾有の好成績を呈し本社の移轉其他により經費も頗る增大せるも結局純益勘定に於て一分の增配を行ひ諸積立金を控除するも尙ほ多額の繰越金を剩すを以て配當增加を決行せしものならんと

◎石粉會社許可

豫て小林藤右衞門氏外八名より設立許可申請中の大正石粉工業株式會社は五月七日附を以て許可のされたり

◎東亞蠶絲支店出願

京都に本店を有する東亞蠶絲株式會社は京城府漢江通り十五番地に支店を設置す可く出願せり

◎在鄕軍人注意

既報の如く本年度より朝鮮に於ても簡閱點呼實施せらるゝに付き朝鮮駐劄軍司令部にては之が手續に關する詳細なる在鄕軍人心得を印刷に附し各官署を經て在鄕軍人に配付すべき筈なれば熟覽の上違反なき樣注意すべく若し在鄕軍人にして該心得書の落手なき者は各官署に就き承合の上六月三十日迄に相當の手續を爲すを要すと

◎段氏妥協方針一變
兩三日中に時局展開か

段總理徐樹錚氏等は四川廣東を恢復して妥協す可しと計畫し居れるも曹錕、張懷芝氏等の出征軍が戰意無く軍のみにては湖南の頹勢を挽回する能はざるを知り段總理は方針を一變し天津の徐世昌北京の梁士詒氏等に妥協條件の具體的研究を依囑せるが兩三日中に時局は展開す可く南方側は條件附舊國會恢復にて妥協に應ず可き模樣なり(北京特電)

◎セ軍チタ攻略至難か

セミョノフ大尉はオツン河に到著し破壞されたる鐵橋を修繕しつゝあり目下の形勢にてはチタに進むを得可しと信ずるも赤衞軍の主力はヤブロノイにありセミョノフ軍の前進を俟ちて大逆襲に轉ぜんとするを以てチタ攻略は容易ならざる可し(哈爾賓特電)

◎京城市場賣買高

京畿道管內には現在南大門市場以下七十七の市場あり最も右の內日の丸水產株式會社市場、京城魚市場及び仁川水產會社市場の四箇所は市場規則第一條第三號の市場にして其他は全部市場規則第一條第一號に依り設立されたる市場なるが今大正六年度中に於ける賣買高を聞くに合計八百五十四萬九千九百四十七圓にして內農產物三百八十七萬五千七百十四圓水產物九十七萬零九百九十三圓織物二十八萬三百三十五圓畜類二十二萬一千八百九十圓其他雜品百三十萬零千百十三圓の割合なりと

◎開城在鄕軍人總會

開城在鄕軍人會にては十二日午前十一時半[illegible]分同地鐵道公園に於て春季總會を開催すべし

◉福岡商業生著期

福岡縣立福岡商業學校生徒二十名修學旅行にて目下滿洲見學中なるが來る十三日夜南大門著入京十四、五、六の三日間滯京し京仁視察の上十六日夜歸校の途に就くべし

大阪財界便り

▲油類季節强硬 機械油は季節需要激增せる品潤澤の爲め甚々しき引上げを見ず目先强硬の狀なるが揮發油は在荷左程切迫せざるも問屋側は先高を見越し隨分買物多き模樣なれど會社の建値より一圓高となり會社は五十錢上げを斷行するに至れり

▲鐵板類益々昂騰 鐵板類は薄物及び端物類の輸入は米國より大連及び上海に入荷ありしも之を轉じて本邦に引きたるもの尠からず本邦製鐵板を合して相當在荷あるを以て市價も左程暴騰を見ざるも厚物(ボイラ造船材料)は何處よりも絕對に入荷なく且つ從來輸入品にて手持ものは最早悉く消化され居り只本邦製の小數の供給を以て需要を滿し居るに過ぎず一方造船業及び鐵工業者にして二流所のものは材料の全部揃はざるにも不拘他方面よりの補給を氣構へに業務に著手したるもの多くこれらが後の材料なく中には既に大半竣工したるに艤裝用の材料なく困難せるもの多くこれ等は競つて市場の品を物色しつゝあるを以て厚物類の價格は日を追うて昂騰し噸五百五六分五二十ものにて噸千五百圓見當を唱へつゝあり

▲苛性曹達軟弱 苛性曹達は輸入杜絕の爲めに思惑筋の買進みに昂騰する一方なりしが漸く利喰賣物現はれたると高値に需要手控へし爲め相場下押しとなり三十二圓八十錢見當を唱へ目先き尙弱含みの兆あり

▲セル地類五割高 目下需要季に向ひし本セルは北製產額の旺盛なる爲め昂騰の勢ひとなり昨年より稍減少したると一般需要昨年七八圓の本セルは十四五圓に五割高を演じ半毛セルも昨年の五六圓より九圓に四割五分高となり商氣頗る强硬なりと(大阪支局)

入京消息

▲太田碧吉氏(下關商會員)十日夜入京天眞樓へ▲服部小十郎氏(名古屋材木商)同上▲山下青之助氏(東京化粧品商)同上▲鈴木伸次郎氏▲村山留次郎氏(京都木材商會員)同上▲吉原月香氏 十日夜退京北行

百口百種

支那人の車夫等が喧嘩の際愈々なり別れとなる最後の手段はワンパタンと怒鳴る▲北京の一新聞が內閣に數日喰つて掛つて居たが總て手管が無いのに業を煮やし▲遂に忘八旦と怒鳴つて掛つて居る處は面白い▲支那も日本も同じ漢字を使用しながら日本と支那と其の意に於て反對の場合が多い▲日本では鶴は千年龜は萬年など云つて緣起の佳いものにして居るが支那では龜の字は毛蟲以上に嫌はれる▲便所などに龜の字を書いて置けば支那人は誰一人這入る者がない丈け夫れ丈け龜の字は禁物だ▲此の樣な事は何うでもよいが之が又た大分商賣上などにも關係して滑稽が飛び出すなどの珍談も少くはない▲例へば日本の商品には贈札に大抵『寶擲元』とか『八十號』とか書くが支那では之を『八十』と讀むから大禁物だ▲何時か或日本の商品を支那に輸入した商人があつたが處が贈札に寶擲元とあるのを見た支那人共はアイゴーでたくて吃驚『八十號』とは馬鹿に高いと云つて一本も買れなかつた事があつた▲夫と同じ樣な話で支那で『快』と云ふ字は『壞』と云つて破壞の意味になる▲其處で淸快丸なぞは南方では非常に評判が好くて能く賣れるが北方では薩ツ張り駄目だ▲と云ふのは卽ち淸快丸で北方で繼起でもないと排斥されて賣れぬとか▲同じ文字で斯う意味が違つてはけ事につけ不自由千萬だから一番日支共通の意味の文字を作つたが良からう▲やかましい日支親善の上から見ても必ず結構

米人の蒙古觀(四)
有望なる蒙古貿易

[illegible]るが故に斯る種類の物品を多量に購入する契約を締結するに當ては[illegible]は本貿易を直接貿易とし且之を大抵は多く銀塊支那貨幣露國貨幣又は紙幣を以てなすに至れり然るに中國銀行は支店を庫倫に有せるも[illegible]切なるものある傾向を示せり[illegible]の權能を得たれば目下浦鹽諸[illegible]於て盛しつゝあるが如く蒙古に於[illegible]の土地は更に他國移民を入るゝの餘地充分に存ず可く目下の其の人[illegible]

◉東洋協會學校のマラソン競爭

[illegible]

日京元[illegible]寺に於て釋迦降誕祭執行に付き京城警察署にては十一時[illegible]
[illegible]商會の化粧品視察團は十日午[illegible]

朝鮮彙報
大正七年 五月號 每月一回(定價二十五錢 郵稅一錢五厘)

能率增進の施設 臨時土地調查局總務課長 和田一郎
▲各開港港灣貿易概況▲私立學校狀況▲大正六年作物狀況▲肥料狀況▲高麗人蔘(?)▲普及狀況▲桑苗配付反別及收穫▲晚島の耕種狀況▲新炭價格▲栽培成績▲調查及研究

日本海橫斷航路

▲成北確產業の趨勢▲北道の狀況▲忠淸南道ノ狀況▲優良部落▲木浦の林況▲西鮮の造林事業▲黃海道の狀況

再び穀類害蟲驅除劑に就て 陸軍三等藥劑正 村田康太郞

▲大正七年度本府豫算▲朝鮮銀行法中改正▲朝鮮貨幣法の施行▲朝鮮人官吏の恩給等に關する法律▲朝鮮人學校の新設▲第八回記念植樹▲賃貸價格 ▲各學校卒業式

立憲の精神 法學博士 上杉愼吉
自由と我立憲の本 帝大法科教授

▲輸入間貸付金利表▲三月中朝鮮貿易▲二月中經濟概況▲鐵道運輸▲旅客出入▲航路客貨輸送狀況▲法令及例規

口繪 大邱郵便局▲大邱郵便局內部▲朝鮮人の日本軍用圖▲壬辰役に於ける日本軍用圖

發賣所 京城本町一丁目 大阪屋號 振替東京一五六八七

西伯利に關する調查
朝鮮彙報特別號 西伯利號 號外 金壹圓廿錢 郵稅五錢
▲口繪 ▲地理 ▲行政 ▲產業 ▲財政 ▲交通 ▲貿易 ▲植民 ▲軍備 ▲教育及宗教 ▲雜錄 ▲度量衡換算割合 ▲貨幣換算割合
▲附錄 東部西伯利地圖
取扱所 京城本町 ウツボヤ書籍店 電話二五七番 振替京城二〇三

小野玄妙先生新著 佛像の研究
代表的佛像二十種コロタイプ版附錄索引▲定價二圓郵稅十二錢
我が日本の古美術に於て世界に誇るべき國寶の大半は即ち佛像なり本書は多年の間斯道の研究に從事せる著者が遍く淸淨なる幾千卷の經典を探り有ゆる佛像に向つて正確なる考說を加へたるものにして該藝術の精粹を網羅せる所なく學界稀覯の新研究たる苟も東洋の學術に於ける諸君は一讀せよ
東京小石川區原町 丙午出版社 振替東京五六八

蠅退治
ハイのウジとタマゴを殺し根を絕つて蠅を枯らす根本的蠅の驅除劑(ST式固形石油乳劑)
定價一拾八錢 郵稅四錢 壹打
總發賣元 熊平支店 電話長六二四番 振替京城三五番
大阪賣元
京城日報代理部 電話 本局二八番 振替京城三〇〇番

京城學校組合規程中左ノ通改正ス 京城學校組合授業料及保育料徵收規程中左ノ通改正ス
大正七年四月二十五日 京城學校組合管理者 京城府尹 金谷充
本規程ハ大正七年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

購買入札
一巡査冬服外拾四品 右購買入札希望ノ者ハ本日以降朝鮮總督府官報ヲ見ヨ
大正七年五月十一日 警務總監部

工事請負入札
朝鮮總督府營林廠會寧派出所廳舍外十二棟新築及移轉工事
同 井戶二ケ所新設工事
朝鮮總督府營林廠廳舍外一棟增築及新築工事
希望者ハ五月二十五日入札 五月十日以降朝鮮總督府官報ヲ見ヨ
朝鮮總督府營林廠

桑種特價提供
◉鹿兒島產 一升ニ付 金五圓五十錢
◉鹿兒島產 普通桑實 一升ニ付 金四圓
桑苗生產業者は本邦法により發芽最確實のものを當分右の値段にて御引受可申候今後如何に値上するやも不計候間至急御申込下され度候
京城明治町一 洪農園 振替京城四八四七番

第十三回決算報告
貸借對照表(大正七年三月三十一日現在)

[illegible]

損益計算書

[illegible]

右之通ニ候也 大正七年五月
朝鮮皮革株式會社
取締役社長 賀田直治 取締役 金子圭介 取締役 宇佐美厚 取締役 渡川秀彥 取締役 皆川廣量 監查役 候補 刈谷 監查役 若林[illegible] 同 原田[illegible] 同 [illegible]

春の道しるべ
村上唯吉共著 價十五錢 郵稅二錢
京城大平通 京城日報社代理部

[illegible]敷物毛皮及び羊毛の引換は唯一定時期に於てのみ之を履行するを得可く而も此等諸品の生産者は不斷に金錢の必要を感ずるものな[illegible]るものにあらず殊に中央政府の保證ある場合に於て特に然とすされば蒙古貿易に對し資本を投下する[illegible]て例令ば皮革家畜羊毛等の購入に對して木綿其他の衣服地鐵器類茶コーヒー等を提供したるが近來支[illegible]しく低落せるが爲蒙古人は自國銀貨の必要を痛切に感ずるに至りたるが更に又銀行の必要を感ずる事[illegible]諸銀行も亦殆ど營業界と遠かざるに至れり朝鮮銀行は最近內蒙古に飛躍する[illegible]洲に於て日本紙幣を發行し現在同地方に流通せる橫濱正金銀行券に代るの特權を得たり廣漠たる蒙古[illegible]十萬平方哩に對し僅々三百萬人に過ぎずと推定せらる（完）

◉降誕會汽車割引

[illegible]本町を經て[illegible]に歸着するマラソン競爭を舉行する由

◉化粧品視察團 東京松澤

[illegible]發賣すべし

中央停車場問題

▼全部眞似は出來ずとも 行屆いた設備丈は模倣して欲しい、感心した倫敦の停車場

◇旅客の便宜を主眼とせよ

總督府醫院長 醫學博士 芳賀榮次郎氏談（上）

中央停車場問題については各方面からいろ／＼名論卓說が出るやうであるが私の意見としては何處迄も旅客の便利を本位とし衞生上の事にも充分なる考慮を拂つて設計して貰ひ度いと思ふのである外國では官公衙とか美術館とか云つたやうな巨きな建物

◆代表的の建物 は其の時代々々の建築工業の精華を表徵する記念物として建てるのであるから幾ら經費が懸らうと構はない有らん限りの智能を搾り有らん限りの技術を揮つて建築する其反面には誇り他の國は此位科學が發達して居るぞ他の國は此位技術が進步して居るぞと云ふ一種の自慢も含まれて居るのだ巴里のエフエル塔は千八百八十年代に同地で開かれた萬國博覽會を

◆記念する爲め 建設されたのであるが之なぞが矢張り其時代の建築工業の粹を鍾めたもので足一度巴里に到り此高塔の下に起つて天を摩す大鐵柱を仰ぐ時つく／＼二昔前の佛蘭西も偉いものだと思ふ停車場なども其土地の玄關でもあり殊には以上の樣な關係から少し名のある都會になると費用を吝まず隨分立派なものを建てる然かも之は單に建物として立派な許りでなく飽く迄

◆旅客の便利こ 云ふ事を主眼として設計したものであるから其設備の如き眞に至れり盡せりと云ふ有樣である今度南大門驛を改築するにしても固より限ある經費の事だから全然外國の眞似をすると云ふ事は實際問題として到底不可能であらうが尠なくとも彼の長を採り我の短を補ふ方針に出づるに於て小は小なりに外國停車場の行屆いた設備を模倣する事は出來るだらうと思ふ私の見た外國の停車場の中で最も感心したのは倫敦の夫である

◆倫敦の停車場 は驛舍に對して垂直線を引いた形に十數條の軌條を敷設し其軌條に沿ふて步廊が設けてあるそして此軌條と步廊は全部一大蝙蝠傘を以て蔽はれ解り易く言へば燒けた國技館のやうな建物の中に汽車が著くと云ふ設備になつて居るから日本の多くの停車場のやうに車體が雨晒しになる憂ひは決してない步廊は譬へば京釜線、京義線、京元線と云つた風に區別され

◆改札口を出る と各線每に揭示があるから旅客は其揭示を見て夫々目的の步廊に入る此步廊が又馬鹿に廣大なるので自動車でも馬車でも自由に乘入れられる汽車の乘降が非常に便利で日本の停車場のやうに長い步廊をテク付かねばならぬと云ふ心配はない尙步廊への出入口は前に述べた通り別々であるが別に

◆橋を架設して 其間々が連結してあるから假令間違つて他の步廊に飛込んでも能く後戾りする必要はなく此橋により線路の上を橫斷して目的の步廊に出る事が出來る要するに倫敦の停車場は何處迄も旅客の便宜を本位として設計されたもので所謂痒いところに手が屆くと云つた設備である

◉一瀉千里の勢で視察

ドレ／＼議事を進めた遷良園

◇大口高見兩代議士が洒落の双璧◇

◇寫眞を撮る間も默つて居らぬ◇

昌慶苑から梨の花散る纛島へ

代議士團は午後一時から總督府醫院參觀例に依つて警句と洒落の連發で芳賀院長や案內の青木商工課長などを恐縮させ、約一時間の後一巡し終つて玄關前で記念の撮影をしたが

▽レンズの前 に立つてもちつとも默つて居ず、芳賀院長に向つて『此中には政治狂が大分居るが東の八號に收容しても遁りますまいか』『それ丈けは匙を投げます』と言つた始末、一行中でも國民黨の大口喜六氏と政友會の高見之通氏が

▽洒落の双璧 で高見代議士に朝鮮視察の御感想如奈と問へば『それはご高見之通り』と笑はす、昌德宮では宣政殿仁政殿等を拜觀して國分次官武藤庶務課長の案內で秘苑の中を自動車で乘廻し、宙合樓に上り引返して植物本館で

▽茶菓の饗應 を受けたが此時は既に豫定よりも約半時間も遲れて居たので、總て『議事の進行を願ひます』で溫室も素通り博物館も睡蓮三尺叢を警戒してヘビーを掛け動物園は歸途悠くり觀る事として之も素通り大口代議士は『千年前の

▽指輪が近代 のと樣式が同じだ』など感心し青森縣選出の伊東代議士は溫突を見て『溫突の中に蟄居して辛い唐辛を食べたりするから國民の元氣が衰へるのだが、さうかと言つて滿更棄てた者でもない、我輩は青森なぞの寒い處では研究すべき價値があるだらうと思ふ』と

▽溫突研究の 主唱者になる、四時纛島模範場著、折善くも梨花紛々と散り初めて風情得も言はれず、一行は農場を一巡の上再び引返してパゴダ公園の塔を見て事務所に於て林檎の饗應を受け天眞樓に歸宿したるは午後六時同夜は朝鮮ホテルに於ける鮮銀東拓合同の招待宴に列した

◉十二年前に 鮮人教化を思ひ付いた

◇教會を建て人を入れ◇

◇出集めた許では駄目◇

綱島佳吉氏談

綱島佳吉氏は目下龍山綠町居氏邸に滯在中なるが語りて曰く、今度は何も別段用事があつて來た譯では無く大分久しく健康を害して居つたので保養がてら遊びに來た迄の事で從て公會の席などへは餘り顏を出ぬ事にして居る東京では近頃

◇朝鮮教化 資金五十萬圓の寄附を募集して貧しき者の爲めに病院を開き感化院を設け保護事業を起し朝鮮人教化に資し精神的に彼我の融和を計る事に力を注いで居る之れには寺內首相を始め多くの朝野の有力者が贊成し多額の寄附金が集りつゝある樣である

◇澁澤男爵 の如きは先般演說會を催した時には自ら演壇に立つて盡力された位である私は病氣の爲め活動に不便である處から今回は委員たる事を辭したが此の朝鮮人教化の事は早く私が十二年前始めて朝鮮に渡つて來た當時考へ及ぼした事であつて當時の統監伊藤公に會つた際閣下は如何にして

◇朝鮮人に 食を與へるかと云ふ事を考へて居られるが私は先づ朝鮮人の頭を作り思想の根柢を定めなければ眞の日鮮融和は出來ぬ事であると力說し公も大いに贊成せられた樣な譯であつたが何も教化と云ふ事は教會を建て、人が澤山集つて來た丈けでは役に立たぬ深く朝鮮人の間に這入つて行つて廣い意味での教化でなければならぬと考へたのである先年三年計畫で

◇二十萬圓 の教化資金を募集したが首尾工合よく運んだので今度は此の事業を起す爲め朝鮮に關係の深い渡瀨常吉氏が主任として活動して居られる

◉新龍山幼稚園野遊會

新龍山信用組合、同、學校組合の主催で十日午前十一時から新龍山幼稚園に同園創立四周年の祝賀式を舉行し午後一時から若葉の綠濃やかなる龍山孝昌園に野遊會を催した、集まる者は信用組合員、學校組合員、家族、幼稚園生徒等三百餘人、お辨當を開いたり幼稚園生の遊戲などがあつて散會したのは午後四時頃だつた

◉築港で膽をつぶす

―琿春觀察團の仁川見物―

十日午後一時二十分下仁したる琿春觀察團一行は松元署長以下多數の出迎者と共に直ちに府廳に到り樓上にて茶菓の饗應を受け午後二時西公園に市街の景を賞しつゝ觀測所に上り完備せる機械につきて一々詳細の說明を受けたる後支那街を見物したり、此時黃團長は支那人の店舖に入りて煙草一個を求め『支那國民に對して特に敬意を表す』と諧謔を弄して一行を笑はせ午後三時築港に向ふ

◆築港では豫て用意の設計概略書に精密の圖面を添へたる小冊子を附付した上永井所長は築港の船渠に一行を導き築港の必要由來を述べて詳細閘門の說明を試み閘門の現況を實見に供したるに一行の驚歎一方ならず四十八尺の閘壁は立ちて眺むる能はざる爲地上に這つて覗き見るの滑稽を演出したり

◆一行は夫より更に船渠に下り各部の說明に膽を潰した上午後五時半仁川俱樂部の歡迎會に臨み午後七時卅分發列車にて京城に引返したり（仁川）

夏場所大相撲懸賞

東京大相撲夏場所は十二日より開場に付き好取組十番を選び勝負豫想を募集す

琴ヶ浦	矢筈山	清瀨川	錦島	黑瀨川
御西山	福柳	大門岩	兩國	常の花
三杉磯	大鳴門	千葉崎	朝潮	鳳
源氏山	對馬洋	大錦	九州山	栃木山

右十組の取組をはがきに認め勝力士の頭に〇、負力士に×、預りは△を附す事▲勝負は總て協會發表の勝負附に據る事▲最も多く的中したる者より順次等級を附し賞品を呈す但し同點者多數の時は抽籤に據り右十組の中取組せざる時は夫れを除去して計算す▲〆切は五月十二日最終便の日附印あるもの▲はがきの表面には必らず京城太平町[illegible]

賞品 △一等一人 銀側懷中時計一個 △二等二人 上等反物一反 △三等三人 上等置時計[illegible] △四等十五人 上等卷煙草一[illegible] ボール苑 △五等三十人 [illegible]一個苑

◇締切十二日に延期

◉東京相撲 初日延期

十日は雨天休場 十二日に初日 九州、朝潮出勤

東京大相撲の十日初日は雨天の爲め休場することゝなれり、風邪にて休場を申出でたる九州山、朝潮は快方出勤することゝなりたるため十一日取組を作り替へ十二日より開場することゝなれり（東京特電）

▼豫想懸賞延期

東京相撲初日十二日に延期することゝなりたるを以て本社の勝負豫想懸賞の締切は十二日まで延期することゝ致したれば更に奮つて投書せられたし

◉巡補を擊つ

三名の怪支那人

◆長春附屬地の椿事◆

十日午前三時半長春附屬地內滿鐵病院橫にて我が務署の支那巡補二名が舉動怪しき三名の支那人を認め取調べんとせしに其內の一人は矢庭に秘し持ちたる二挺の拳銃を取出し一名の巡補に重傷を負はせたり二名は逸早く逃走したるが他の一名は巡補の後ろより抱き附きしを振り放されて射殺されたり負傷の巡補は腹部に盲貫銃創を受け生命危篤なり（長春特電）

◉龍山中學の登山

龍山中學校生徒二百名は職員引率の下に十一日午前七時同校出發北漢山を一週せる上午後五時歸校の豫定也

◉背水講伯展覽會

背水講伯は十一、十二、十三の三日間本町谷川町鐵道集會所に於て作品展覽會を催す筈なるが該回は同氏の作品以外參考品として門下生の作品二十餘點を陳列し尙同十二日には油繪製作の順序をも示す事としたり右につき背水講伯は自分の作品ばかりでも三十點からあり參考品を合せると六十點以上に達するから一寸見應がすると思ふ然し右の展覽會は買ふ方よりも寧ろ見て貰ふ方が主眼であると語れり尙同會場に於ては目下本社にて發賣中なる同伯揮毫の原色版繪葉書（京城龍山六景）を販賣すべし

◉鐵道對京龍庭球戰

鐵道對京龍庭球戰は十二日午前十時より龍山鐵道コートに於て行はるゝに決せるが本試合は來るべき全鮮庭球大會戰に京城庭球俱樂部對鐵道庭球部第五回爭霸戰の前哨戰とも見るべく京城龍山共昨秋に比し選手に大移動あり殊に京城方春季大會を催ふして陣容を整へ來るべき爭霸戰に備ふる所あり[illegible]

◉質札買入所の內幕

泥棒―質屋―質札買―素人

此の頃市中の朝鮮人街に『質札買入』といふ看板がぶら下つてゐる一體どんな方法で營業してゐるかと思つて其の內幕を訊いて見た、其の方法と言ふのは頗る凝つたもので、此の手の從業者といふのは

◇大抵イカモノ食ひ の代物で古物商を片手のものが多い、先づ彼等は質屋と氣脈を通じて置いて入質者の住所氏名を突き止め、其の家に行つて今にも流れさうな質札に對し殆ど誤金のやうにして幾何かを出して質札を買ひ取り之れを以て質屋から受け出し品物は別の古物屋か素人筋に賣り飛ばして高利を博するといふ方法と今一つは

◇質屋が贓物である といふ事情を知りながら受け込んだ品物であることを見込み、泥棒らしい者から入質した札を買ひ取り之れを以て其の贓物らしい衣類などを受け出し第三者へ賣り渡すのだ、此の際質屋の方でも贓物らしいので價五十圓位の物に五圓位しか貸さぬといふ次第だが、長く手許に保持して置けば贓物として只引上げられる虞れがあるから

◇利益は少しでも早く手放す、而して其の間に立つた質札買ひも自分の手に長く置いては危險だからと考へ警察官憲で直接沒收することの出來ないやうに事情を知らぬ第三者に手早く賣りつけるのである、此の場合最も甚いことをするのは泥棒で他人の物を只窃取し入質して取つた上に質札代迄取るのだ、爲めに其の關係から言へば

◇泥棒―質屋―質札買―素人― と斯樣に渡つて行くから一度窃取された衣類などは容易に發見することが出來ないばかりでなく、發見しても押收し難い所迄に押し隱めてあるのは拔目のない仕方である、而して此の質札買ひといふものゝ取締規則も未だないらしい

十日より 黃金館 全卅一卷の內 第三、四篇四卷 ミラの秘密 第二回 人氣を集中せし珍無類の大怪劇 破天荒の 初篇以來 連日滿員

社員招聘 日鮮人年齡卅歲以上身元確實、履歷書持參 外交の確信有る紳士 京城府南大門通一丁目 大同生命保險株式會社京城支部

店員入用 但し十五歲以上十八歲迄二名 京城本町二丁目 織田東洋館 73

會社代理店（各地） 業務簡易收入多大 希望者申込あれ 京城本町三丁目一〇 內外證券支部 77

わさび粉 湯で溶し二分間密閉 香色辛共に生わさびと同じ 時便用し得無比珍品 京城永樂町一 中野商店 63

御下宿 南大門驛前 優翠旅館 靜閑にして凉しく室內極めて 御客樣に對し親切丁寧御取扱可申候 電話二六二五 61

上等捨坪約三三拾坪有り 御希望の方は至急に申込あれ 電話二六二五 62

看護婦入用 看護婦及見習看護婦入用 南大門通 濟生堂醫院 72

朝鮮人丁供參名 至急入用 京城旭町一丁目 中島印刷所 74

有識婦及見習看護婦至急入用 希望者は履歷書持參來院 京城明治町 鮫化病院 71

四つ目垣一臺賣物あり 京城明治町 小川藥店 79

貸家 洋館建坪百餘坪 大會社事務所及住宅向 西小門 東向住宅 杉 電話三〇八二番 73

京日案內 普通 番外 ▲申込は前金の事 普通一回前金五十錢

◉ビータ 蒼荷 京城本町 電話二十七 四七五 龜屋

▲夏物製造開始 洋燈類各種 鐵道用硝子器 瓦斯セイド 船燈用各種 理化學用硝子 標本瓶各種 各色菓子瓶 食器類一式 瓶類特約店 總督府醫院 京城電氣會社 各官衙 山岸機械部 京城林町 御用 小野玻璃器製造所 電話二七九二番 京城永樂町二丁目 小野玻璃器販賣部 電話二八七九番 京城黃金町二丁目 村上瓶店 電話三三二四番

◉蠅取器（一個六十錢） 實用新案特許 第四四五〇八號 豐田式蠅取器

硝子製の如き破損の憂ひなく又自動蠅取器の如く高價ならず永久使用に勝へ蠅のよく捕れる點に於て本品を推奬す 製造發賣元 和洋金物商 京城本町二丁目 釘本藤次郎本店 電話長四五、二七四 振替口座京城二五六番 地方特約店募集す

易斷 高島易斷本部主事高島香明先生出張 受付午前八時より十一時まで午後二時より十時まで 場所 京城本町一丁目清光館內（電話一三五〇） 神易協會 高島易斷本部

滋養強壯劑 レグモン

レグモンは多量の可溶性蛋白質と適量のカルチウム鹽類より成れる理想的蛋白製劑にして京都醫科大學教授 森島醫學博士より有効滋養劑として推奬せられたる名譽ある滋養強壯劑なり

「レグモン」は單純なる強壯劑と異り、其八十五プロセントは吸收せられ易き蛋白質なるが故に營養不給の結果衰弱せる人體に多量の滋養分を供給して血球素と體量を增加し、筋肉を強め、心臟を強くし、又神經を強壯鎭靜せしめて、神經過敏を恢復し、漸次に體質を改良強健ならしむるものなり、又レグモン中に含むカルチウム鹽は最も吸收せられ易きが故に現今專ら醫界に賞讚せらるゝカルチウムの奇妙なる強壯的作用を人體に與ふべき理想的滋養強壯劑なり。

醫學士山下竹三郎氏（日本赤十字社病院）曰く レグモンを多數の衰弱せる患者に試むるに速かに營養を恢復し治療期間を速かならしめ得たり、殊に其の服用し易きを運用して胃腸を害せざる等の點に於ても、從來外國より輸入せられたる滋養劑に劣らざるものとす。云々（東京醫事新誌所載の學術的報告の結論）

詳細なる說明書あり 無代郵呈す

定價 百瓦入 金壹圓貳拾錢 二百五瓦入 金貳圓貳拾錢 四百五十瓦入 金四圓五拾錢 全國知名藥店にて販賣す

發賣元 藥品製造 藥種貿易 大阪市東區道修町 武田長兵衛商店

內科 胃腸病 診察夜間九時迄 石川醫院 電話[illegible]

花吹雪

大阪 中谷青霞

（二十七）

『誰あろう建部の若殿、某風情が申すことお聞入れはござりませぬかなれど、少時心を鎭めて可うお聞きなされませ。』

淸兵衞は兵馬が前へニジリ寄り、形を正して屹となつた。

『某が今このやうに役もない腕立して御身様始めお供の衆まで、幸い目見せ申したは、お家の威光を憚むでもござりませぬ、又某が腕の程を誇ろう某でもござりませぬ、有様はお前様、重き旗本のお身を輕々しうも町奴風情に與みなされ、嗜なしい御擧動、お氣の毒やら笑止やら見るに忍びず、斯く散々の目をお見せ申したのでござりまする、弓矢八幡主の馬前でこそと思ふ淸兵衞が一命、何の町奴風情の前に投出して、野伏りの一六勝負をはいゝ致さうやうはござりませぬ、究竟お身様がこの江戸には我より強き者はよもあるまいとの思召しから起つた紛紜、某風情にさへ此始末、この大江戸には某に十倍百倍の猛者が護人ゐやうとも解りませぬ、若し浪人の健宜なさに世を捨鉢の三分五厘、云ひ懸つたが最後の介、浮世を見くびつた拗ね者にでもお出會なされたならば、隨分お命に拘はる大事にも至らぬとは申されませぬ、不幸にしてお身様が果敢なうもお成りなされたならば、親御様お身内の歎きは云ふ迄もござりませぬ、お家の瑕瑾、御家門の名折れ、あの建部の倅が用もない腕立ての詮議に男とやら、女とやらを研いて、名も知れぬ者に殺されたと世上の人の口の端にかゝり、末代までの識りを潔うお受けなされてからが大死、お家の瑕瑾と申さうより、外はござりませぬ町奴なぞ申す輩はお家の威光を借りて己がじゝ暴動ふ虎狼の儕、お身様が危しと見て助けうとはせず、背後を見するにても心中の卑劣しさは推測られ怯ない奴、お身様なぞが事を共になさるゝ業ではござりませぬ、こゝの處を可う御合點なされて是迄の御行跡ふつゝりお止となされませ、某なぞが申したとて要もない釋迦に說法聞く耳はないと思召さうかなれど、某も同じ旗本の衆を主と頂くもの御同僚の誼み主人顔持になり替つて屹と御諫言申しまする、何と兵馬様御得心なされましたか。』

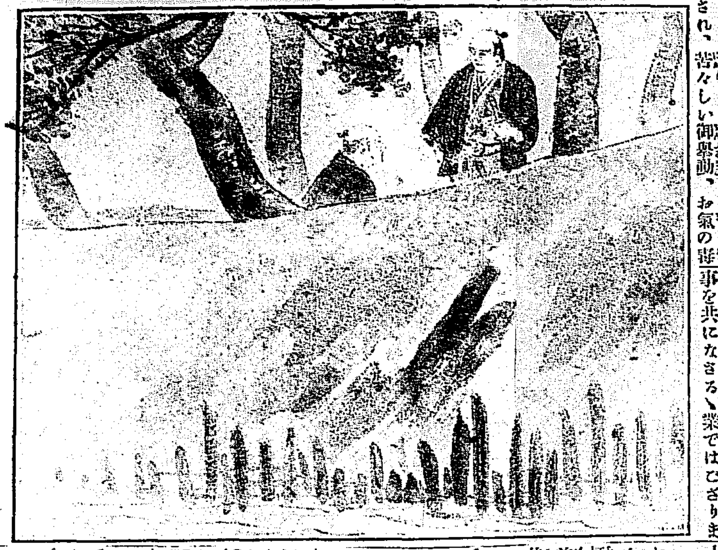
物をも云はで脣を噛んでじつと首垂れてゐた建部兵馬。

『淸兵衞、過分の志諫言の禮には………と恐れるわ。』

と拔打ちに不意を打つて切りつくる。

『わ－又しても卑怯の腕立、殺うこれ迄でござりまするぞ。』

淸兵衞は利腕執つて刀をガラリと叩き落し、ねいと引擔いで隅田の堤、其儘驅け行く不敵の行為。



是より先き柳川香甫其他の町奴は、辛うじて其場を遁げ出し、番町の建部が邸に駆けつけて斯々との注進、大殿讃十郎烈火の如く憤ほり、二三の近習を添へて御用人某と云ふに愛馬を貸し與へ、隅田堤へ鞭を擧げて蓬然に駆けつけさせた其時は、淸兵衞既に兵馬を引擔いで去つた後、折から四邊は只寂寞としてそれぞと思ふ人影もなかつた。

淸兵衞は死せるが如き兵馬を引擔ぎ悠々と建部が門前に辿り著き

『御門の衆、兵馬様をお送り申した、さお受取りやれ。』

と呼ぶ聲、輪違ひの紋つきたる提灯かざして立出づる若黨どもの面前へ、どろりと兵馬を投げ下して井戸淸兵衞。

『挨拶とあらば月岡が邸の井戸淸兵衞ぢや、確にお送り申したぞ。』

補血强壯のふり出し藥 **人蔘煎劑** 婦人病の妙藥 京城南大門通二丁目 朝鮮化學製藥株式會社 電話一三一六番

日報歌壇

□春の夕陽　よし二

夕ぐもる〇〇〇〇眺むれば春の夕陽はさびしかりけり

船頭の唄うたひ行く漢江に春の夕陽はまばゆかりけり

夕かけてたこもしらず風すなり春立つらし山に來れば

□旅にて　秋村生

風もなく靜まりにける夕ぐれに櫻の散るはかなしかりけり

そぞろなるわが物思ひ庭に出でゝ今朝こそ見たれ山梨の花

ほのぼのと明け行く朝の露を見て都遠しと思ひけるかな

□春雨　柿沼あづさ

うらうらと〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇ぬげば春のおもひとなりにけるかな

遠方の兵舍にらつぱ喇叭ときこえて春はくれにけるかも

おもしろく身にもしとしとゝふる春雨によよひ居たけ

□酒倉　晴鶴

酒倉立て殘し桐の若葉かな

若葉巡る酒庫や人々聲高く

新刊紹介（到着順）

◉東亞皮革公募好況　既成本紙廣告の如く日下超過金團公募中の東亞皮革會社は從來製造不完全なりし牛山羊其他の海物製革なる皮の油鞣革業の確立なる業第一に著手すべき目下皮革製造の需要激増にて利益多大なるは勿論此種會社の何れも成功せるに見て非常の人氣を喚び既に公募は二倍以上に達し居れるを以て益々活況を呈しつゝある由なるが工場敷地も鍛冶町附近に選定して近く起工に著手の豫定なれば締切までには尚ほ多數の超過を示すならん

▲後の茶話（梅田征蒐著）裝幀華麗にして多趣味多方面なる内容にふさはしく東西古今の興味ある物語を渉獵して面白く書きなしたるもの史談あり藝術談あり處世法あり其他科學文藝語學宗教實務その他趣向上の至々なる斷想を蒐集す（一圓、東京芝公園玄文社）

▲解剖的話ひ桜 …… ▲朝鮮公論（五月號）……▲始て月世界に行ける人（米人サエルス作橋本虫郎譯）……▲三十年後（星一著）……▲俳句世界（二ノ五）……▲子供の友（六月號）綺麗な少年少女向の新築綺本にて面白くして爲めになる雜誌なり（十三錢、東京雜司ケ谷上り屋敷一四八婦人之友社）▲獨逸語青年（五月號）二十錢、東京本鄕龍岡町三四共社 ▲習字と作文（三ノ五）十錢、東京小一八六二共社 ▲大阪銀行通信錄（二四八）三十錢・大阪銀行集會所 ▲日米通商關係（日米協會報第一號）東京丸の内三菱二一日米協會

讀者の領分

▲私は五月六日京城新聞の領分欄に、私の母校の寄宿舍について投書した一學生ですが私は今まで寄宿に居た事もなくて寄宿生活に馴れない爲め指様を誤解して居たのでかゝる事を投書したので確かに見れば却つて人心もよく、かの事は全く私の誤解より生じた事へ達でしたから何卒この不文な投書は取消下さいそして寄宿生一同よ、一時でもかゝる誤れる事を投書して皆様の名譽を傷けし私なれど、かく懺悔致します（ある一學生）▲若の上は何卒御容赦下さい……

名聲いよいよ高く 信用ますます厚き **高麗人蔘エキス** 京城府明治町二丁目 **小笠原大藥房** 支店 大阪市西區新町 電話一九四八番振替京城二七五三番

日本及歐米十三ケ國專賣特許 胃腸最新藥 **チスゲチン** 食慾が進まない時に食慾を促し元氣が衰へた折に活力を與ふ 貧血のものには血液を補給す 體力の増進と體量の増加を促す 現今醫學大家は胃腸の諸疾患に本品を最も賞用せらる 東京木町 藥種問屋 日本橋　森田屋

月やく 月やくとまりして不順のため顔にかゝへ氣分なくなりたる方に〇〇 東京四谷信濃町 森田屋

最新刊 **勞働經濟講話** 戰後の事業 普通動物闘說 人義代用物 心理講和 家庭教育子供のしつけ方 川 縮刷世間學 **算術自由自在** 醫師の職務 科學の自由界 現代新俳句 小說入門 論文作法 描寫の心得 **英文典新釋** 京城本町三丁目 **大阪屋號書店** 振替京城二〇八六四

骨つぎ 明治町ふらんす教會前 荒川仁吉堂 電話二五九五番

バートサイク 十錠四十錢 五十錠 百錠

りん病 急性慢性 最新藥 山田文珠堂 京城黄金町三 振替京城

北海材荷着案内 地板、栓、楢、櫻、柱、杉、椅子桁、板機械挽 和洋家具材 京城黄金町一丁目 **本明雜木店** 電話三一七五番

石油發動機 八馬力 東京 池貝壹臺 **ポンプ** セントル、ヒュゲル 口徑 拾二吋 壹臺 鐵管 貮拾五尺 割安賣却致度候 京城南大門通五丁目 器械材料商 **中村幸商店** 電話二二三番

目ニ見ヘテ ズンズントキク シュマズイタマヌ 井上博士 **ロート目藥**

質 ◎◎ 確實 火災 多額の融通 京城 **大塚質店** 電話八四九番

星印ソース 今やいづれの御家庭にてもソースは星印を御愛用になる 本品は其品質に於て實に斯界の明星なり 全國到る處の洋酒食料品雜貨店にて販賣す 發賣元 大阪市 **祭原伊太郎**

春の娯樂と寫眞機 イーストマン會社製カメラ アンスコカメラ 定價各拾四圓 送料 京城太平通・電話構内一八番 **京城日報社代理部** 振替京城三〇〇番

純良の藥品と賣藥が揃つて居ます クラブ化粧品代理店ですから 御値がお安いです 京城本町二丁目角 **古城贊化堂** 電話一〇二番

大學目藥 何と言つても大學目藥だ 多年苦んだ眼病も大學目藥をさして此通り立派に全快した 悪性の眼病を斯くも手輕に治した大學の効驗は實際驚くの外はない

葡萄酒 **赤玉ポートワイン** 朝夕の一杯は百藥に優る 早く召上れ!! 赤玉ポートワインを ▲貧血の人 ▲神經衰弱の人 ▲食慾不進の人 ▲産前産後の人 ▲精力衰退の人 ▲虚弱の人 キット利目がある

天下一品 **白鶴** 仁川本町三丁目 **増本酒店** 電話一〇九番

百貨 りん病 ばい毒 帝國醫科大學 進呈 **にせ物と好商** 大阪有田 南大門外 大阪有田ドラッグ商會

大阪商船株式會社 汽船出帆廣告 仁川出帆 ◉神戶、大阪行 ◉釜山、門司、宇品、神戶、大阪行 ◉安平丸 ◉西湖津 ◉大連出帆 ◉基隆丸 上海、基隆、打狗行 內地各港出帆主要航路 歐洲 南米 北米 濠洲 南洋 御注意 大阪商船株式會社仁川支店 電話二〇一番

釜山出帆廣告 門司、神戶、大阪行 和歌浦丸 立神丸 元山、西湖津、新浦、城津、清津、浦鹽行 佐須奈、嚴原、壹岐、博多行 第三墨平丸 大池回漕部

下關 明米 大阪

十日後場 常限寄付